

I-O DATA

PDI-B901/CF 取扱説明書

116787-01

【特長】

■ActiveSyncに対応

クレードルやUSBケーブル接続で行っていたActiveSyncが、ワイヤレスで行えます。

■PDAやパソコンとファイル交換

本製品を装着したPDA同士やBluetooth™を搭載したパソコンとの間で、手軽にファイル転送をすることができます。Bluetooth™を搭載した電話機の電話帳をPDAにバックアップすることもできます。

■Bluetooth™ Specification 1.1に準拠

安定した相互接続性を誇る最新規格、Bluetooth™ Specification 1.1に準拠しました。

■信頼のWidcomm社製プロトコルスタック採用

Bluetooth™を利用する上で最も重要な条件、相互接続性を確保する為、世界で最初にBluetooth SIGの認定を取得した、Widcomm社製のプロトコルスタックを採用しました。

■高感度小型アンテナ採用

可能な限り出っ張り部分を少なくした設計なので、PDAの携帯性を損ないません。

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
- 3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
- 4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
- 6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
- 7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
- 8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
- 9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込みでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のPDAにおいてのみ使用することができます。
- 12) お客様は、本製品または、その使用权を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
- 13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
 - I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
 - Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
 - Bluetooth™およびBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、(株)アイ・オー・データ機器へライセンスされています。
 - その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ	1
本製品でできること	3
必ずお守りください	6
本製品で使用する電波について	10
使用上の注意	12

本製品を使うまでの手順

以下の流れにしたがって、本製品を使う環境をつくりましょう。

はじめにすること

使う前に.....13

箱の中を確認する	14
動作環境を確認する	15

セットアップする

セットアップする.....17

①セットアップの準備をする	18
②つなぐ	19
③インストールする	20

基本操作をおぼえる.....23

①通信相手を待ち受けにする	24
②通信相手を探索する	25
③使ってみよう	30
(参考)本製品を待ち受けにする	31

必要なときに読むところ

応用操作、トラブル解決法、本製品の付属情報です。

応用編

インターネットに接続する 33
 携帯電話やモデムを利用する 34
 LANアクセスポイントを利用する 42

ActiveSyncを行う 49

ファイル交換をする 59

LANに接続する 69

名刺交換する 71

予定表、仕事、連絡先を送信する 75

その他

Bluetoothマネージャを使う 80

Bluetoothを設定する 85

本製品を削除する（アンインストール） 93

困った時には 97

用語解説 103

仕様 105

アフターサービス 106

本製品でできること

本製品とBluetooth™を搭載した機器を使えば、様々なサービスが利用できます。例えば、電話機がカバンの中に入ったままでもワイヤレスでインターネットに接続し、ウェブブラウジングやメールの送受信を行うことができます。また、LAP(LAN Access Profile)に対応したBluetooth™搭載パソコンやDUN(Dial-Up networking Profile)/LAPに対応したアクセスポイントを使って、LAN経由でインターネットに接続することもできます。



参考


Bluetooth™とは？

携帯電話、パソコンなど多様な機器にケーブルを使わずに接続できる技術です。電波で通信するため、従来のようにケーブルの取り回しなどを気にせずにお手軽に通信できます。詳しくは103ページをご覧ください。

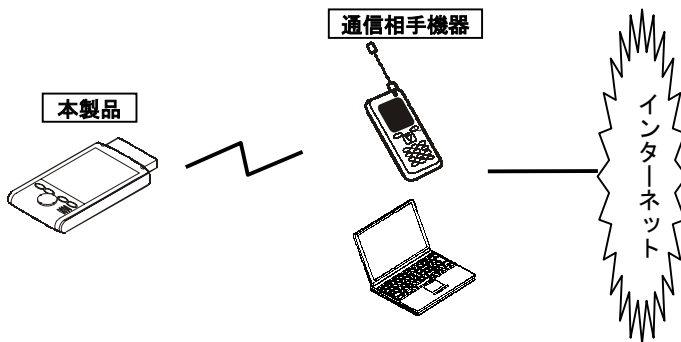
サービスとは？

他の機器と接続する際は、利用する機能を指定します。この機能をサービスといいます。機器によっては利用できないサービスもあり、また、本製品がサポートしていないサービスもあるためご注意ください。本製品で利用できるサービスについては、下記をご覧ください。

インターネットに接続する


 33ページ

携帯電話/PHSのダイヤルアップなどを利用して、インターネットに接続できます。

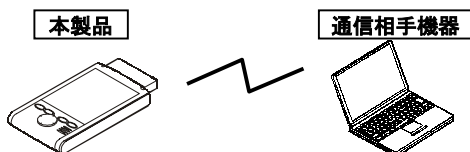


本製品でできること


ActiveSyncで接続する

 49ページ

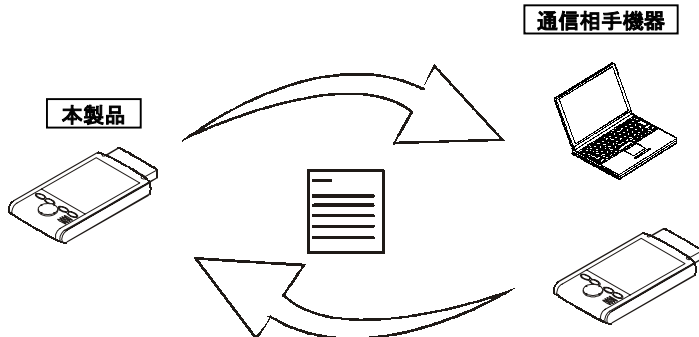
従来、クレードルやUSBケーブルなどを使って行っていたActiveSyncがワイヤレスで行えます。




ファイル交換をする

 59ページ

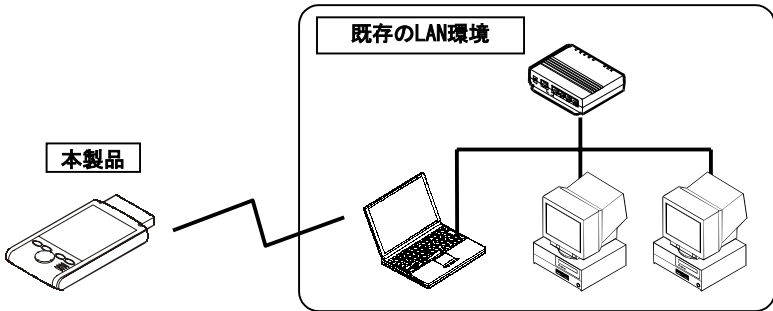
パソコンやPDAのファイルをワイヤレスで交換できます。





LANに接続する

 69ページ

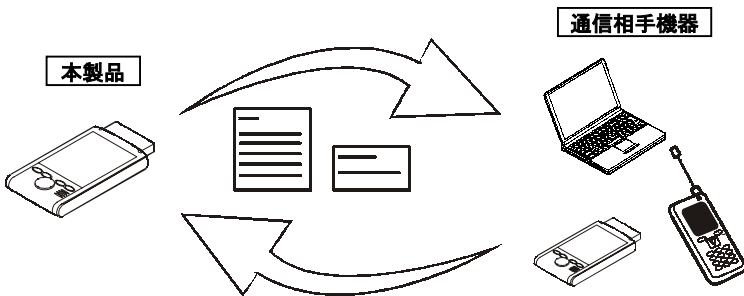
LANケーブルを使用せずに、ワイヤレスでLANに接続できます。



名刺交換する 予定表、仕事、連絡先を送信する

 71ページ
 75ページ

名刺の交換や予定表、仕事、連絡先の送信が簡単にできます。



参考



名刺交換機能とは？

Bluetooth™ 機器の所有者として登録した vCard ファイルを交換する機能です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。


■警告及び注意表示

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味




この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「発火注意」を表す絵表示




この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

警告



厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。



分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。

修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



電源プラグ
を抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントからプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
- ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
- ボード製品の場合は、指定されたスロットにきちんと差し込んでください。正しく装着されていないと、火災および故障の原因となります。



厳守

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、本製品の取扱説明書をご確認になり、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品※の電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。

※電源スイッチを持っていない製品、Plug & Play製品（USB、IEEE 1394、PCカードなど）は除く。

電源コードを抜かずに行うと、感電および故障の原因となります。

必ずお守りください



水濡れ
禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。



厳守

決められた電流内で使用してください。

本製品を出力電流の絶対最大定格を超えた電流で使用または保管すると火災・感電・故障の原因となります。



禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外してください。また、電源やACアダプタがある場合は、通電をしないでください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



禁止

本製品を病院内で使用しないでください。

医療機器の誤動作の原因になることがあります。



厳守

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用してください。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。



禁止

本製品を飛行機の中で使用しないでください。

飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではPDAのカードスロットから本製品を取り外してください。



禁止

日本国外で使用できません。

注意



本製品を使用する際に、取扱説明書などでの操作手順説明と異なった操作をしてデータが消失した場合は、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。

また、故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。

修理の際、検査のためにデータの消去などを行う場合があります。修理にお出しになる前にもバックアップを行ってください。



本製品は以下のような場所(環境)で保管や使用しないでください。故障の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒータなど)
- 強い磁力・電波の発生する物の近く
(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など)
- 水気が多い場所(台所、浴室など)
- 傾いた場所
- 本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所
(保管は問題ありません)
- 腐食性ガス雰囲気中(CO₂、H₂S、NH₃、SO₂、NO_xなど)
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い(じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)場所(保管は問題ありません)



本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上へのせない
- 本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない



本製品のネクタ部分には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊される恐れがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れ、静電気を逃がした後で行ってください。

本製品で使用する電波について

本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。

本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

・以下の近くでは使用しないでください。

- ・電子レンジ/ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- ・IEEE802.11b無線LAN機器

上記の機器などは、Bluetooth™と同じ電波の周波数帯を使用しています。

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。

そのため、通信ができなくなったり速度が遅くなったりする場合があります。

・テレビ/ラジオを本製品の近くでは、 できるだけ使用しないでください。

テレビ/ラジオなどは、Bluetooth™とは異なる電波の周波数帯を使用しています。

そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。

ただし、これらの機器をBluetooth™製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth™製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。

ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。

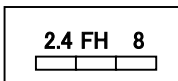
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ・ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- ・ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ・ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

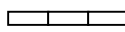
**連絡先：サポートセンター 電話： 金沢 076-260-3644
東京 03-3254-1144**



2.4：2.4GHz帯を使用する無線設備を表す

FH：変調方式を表す

8：想定される与干渉距離を表す（<=80m）

：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避不能であることを意味する。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

・良好な通信のために

- ・他の機器とは、見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
- ・電気製品（AV機器、OA機器など）から2m以上離して通信してください。（特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので3m以上離してください。）正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
- ・無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- ・無線LAN機器との電波障害について
IEEE802.11bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth™機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

・使用しないときは、本製品を抜いておくことをおすすめします。

他のBluetooth™機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

・修理について

- ・本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。


使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

箱の中を確認する


内容物リストを確認します。



 14ページ

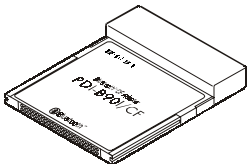


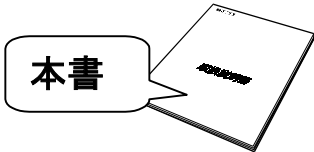
動作環境を確認する

本製品を使うことができる機種やOSなどを確認します。

 15ページ

箱の中を確認する

ご使用前に以下のものがそろっていることを にチェックをつけながらご確認ください。万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

内容物	
<input type="checkbox"/> 本製品 (1枚:ソフトケース付き)	<input type="checkbox"/> ハードウェア保証書 (1枚)
	
<input type="checkbox"/> サポートソフトディスク (1枚) [CD-ROM]	<input checked="" type="checkbox"/> 取扱説明書 (1冊)
	



注意!

- ・箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
- ・イラストは若干異なる場合があります。



参考

《ユーザー登録しよう!》

弊社からお客様へ連絡を差し上げる際の資料となります。

(e-mail アドレスを登録したご希望の方へは、新製品・サポート情報満載の e-mail I-O NewsLetter を定期的にお届けします。)

登録アドレスはこちら <http://www.iodata.jp/regist/>

動作環境を確認する

本製品の動作環境を確認します。

動作環境	
コンパクトフラッシュ™ Type I またはType II スロットを搭載した、下記のWindows CE搭載機種	
動作確認機種	OS (日本語版に限る)
■TOSHIBA GENIO e550, e550X, e550X (MD), e550G, e550G (MD), e740, e740W ■Compaq iPAQ 3630 ■NEC Pocket Gear MC/PG5000 ■CASIO CASSIOPEIA E-2000 最新情報は弊社ホームページをご覧ください。 http://www.iodata.jp/	Pocket PC 2002/2000 (Windows CE 3.0)

必要な機器例	
サービス	通信できる機器
ダイヤルアップ	DUN (Dial-Up networking Profile) 搭載の下記のBluetooth™対応機器 ・ 電話機 : DoCoMo 633S、au 413S ・ 電話機用アダプタ ・ アクセスポイント ・ PC経由モデム ・ PDA経由モデム
ActiveSync	下記を満たしたBluetooth™搭載パソコン ・ ActiveSyncがインストール済みであること ・ SPP (Serial Port Profile) に対応し、ActiveSyncで使用できること
ファイル交換	FTP (File Transfer Profile) 対応のBluetooth™搭載パソコン、PDA
名刺交換	OPP (Object Push Profile) 対応のBluetooth™搭載パソコン、PDA、電話機
LAN接続	LAP (Lan Access Profile) 対応のBluetooth™搭載パソコン、PDA、アクセスポイント

※ “Profile” に関しては、【用語解説】 (103ページ) をご覧ください。

MEMO


セットアップする

本製品を使えるようにするための作業を行います。この作業は、はじめてお使いになる場合のみに行います。

①セットアップの準備をする

ActiveSyncが使用可能なパソコンを準備します。




 18ページ

②つなぐ


ご使用になるWindows CE機に本製品を挿入します。



 19ページ

③インストールする

添付のCD-ROMを使って、インストールします。

 20ページ

① セットアップの準備をする

ActiveSyncが使用可能なパソコンを準備します。

インストールする前にご確認ください

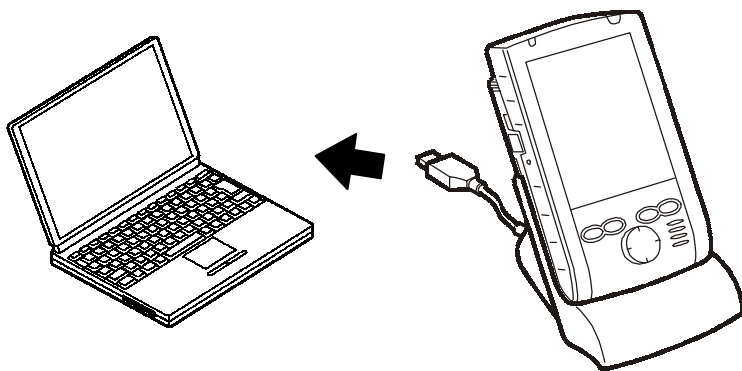


注意!

ActiveSyncについては、Windows CE機の取扱説明書をご覧ください。

ご使用のパソコンでActiveSyncを使用できる状態にします。

ご使用のWindows CE機に付属の「Microsoft ActiveSync」をインストールし、ご使用のパソコン⇔Windows CE機の間でデータ転送が正しく行える状態にしておいてください。

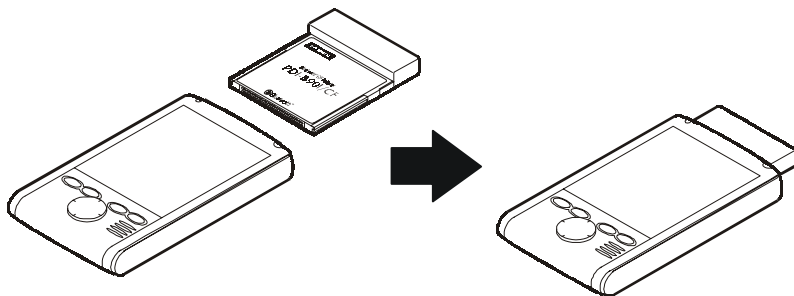


準備ができれば、【②つなぐ】（次ページ）へお進みください。

②つなぐ

本製品を挿入します。

ご使用のWindows CE機に本製品を挿入します。

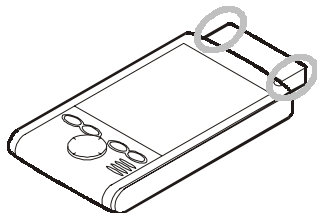


【③インストールする】（次ページ）へお進みください。



注意！

取り外す場合は、両端を持って、引き抜いてください。



③インストールする

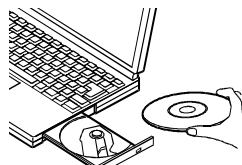
本製品を使うには、はじめにインストールする必要があります。



注意!

- インストール作業は、はじめてお使いになるときのみに行います。
- インストール時は本製品を挿入したWindows CE機をクレードルに乗せた状態でかつActiveSyncできる状態にしておいてください。

- 1** サポートソフトディスクをご使用のパソコンのCD-ROMドライブにセットします。



サポートソフトディスク

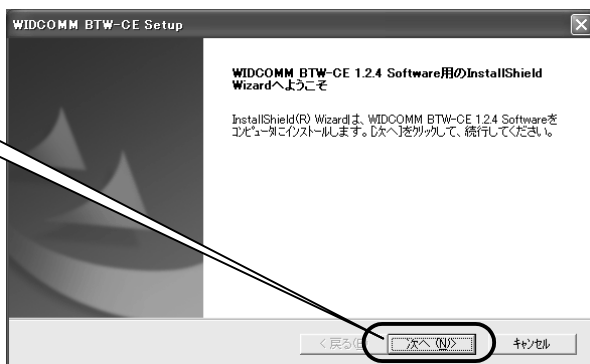
- 2** サポートソフト内のインストーラを起動します。

パソコン側の操作です。

マイコンピュータなどから、CD-ROMドライブを開き、[WINCE] フォルダの[Setup.exe]を実行してください。

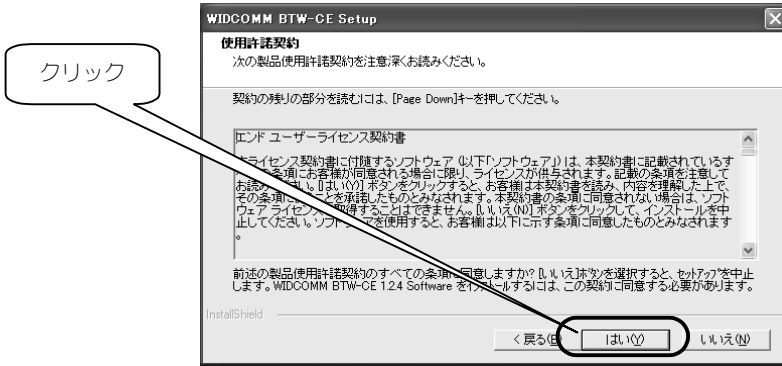
- 3** [次へ]ボタンをクリックします。

パソコン側の操作です。



4 [はい] ボタンをクリックします。

パソコン側の操作です。



5 [はい] ボタンをクリックします。

パソコン側の操作です。

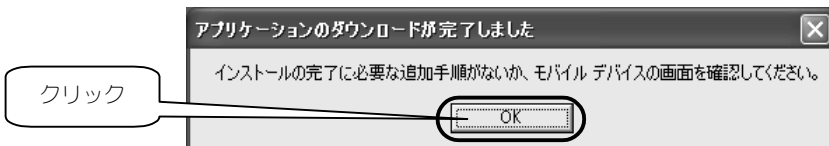
この画面が表示されない場合は、下記を確認し、はじめからやり直してください。

- ・ ご使用のパソコンとWindows CE機でActiveSyncできていること
- ・ 本製品がWindows CE機に挿入されていること



6 [OK] ボタンをクリックします。

パソコン側の操作です。



③インストールする

7 Windows CE機で下の画面が表示されら、[スタートメニュー…]にチェックを付け、[OK]をクリックします。

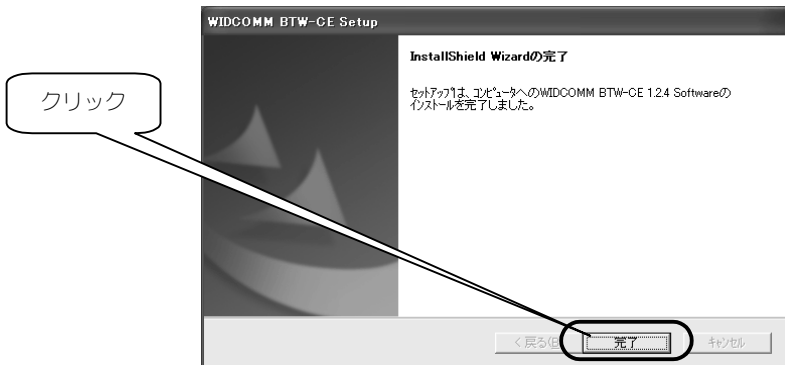
チェックを入れない場合は、[]→[プログラム]に登録されます。



8 Windows CE機をソフトリセットします。

ソフトリセットの方法については、Windows CE機の取扱説明書をご覧ください。

9 パソコン側で[完了]ボタンをクリックします。



以上でインストールは終了です。【基本操作をおぼえる】
(23ページ)へお進みください。


基本操作をおぼえる

本製品の基本的な操作をおぼえましょう。

①通信相手を待ち受けにする

本製品をBluetooth™搭載機器と通信させるために、通信相手となる機器を待ち受け状態にします。




 24ページ

②通信相手を探索する


待ち受け状態になった通信相手の機器を本製品から探します。



 25ページ


③使ってみよう

実行したいサービスによって操作方法が異なります。

 30ページ

(参考) 本製品を待ち受けにする

他のBluetooth™搭載機器から本製品にアクセスしたい場合は、本製品を待ち受け状態にする必要があります。

 31ページ

①通信相手を待ち受けにする

本製品をBluetooth™搭載機器と通信させるために、通信相手となる機器を待ち受け状態にします。



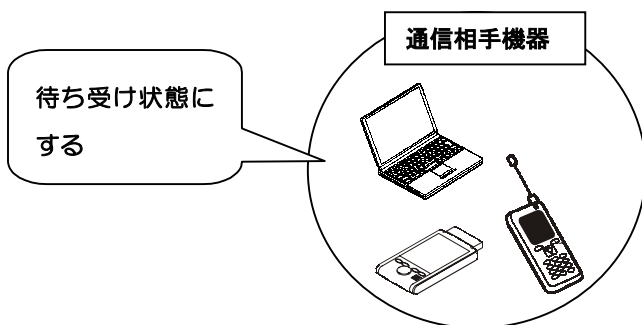
注意!

Bluetooth™搭載機器の操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

1 通信相手機器の電源を入れます。

2 通信相手機器待ち受け状態にします。

例えば、本製品からダイヤルアップでインターネットに接続したい場合は、携帯電話のBluetoothメニューなどからダイヤルアップの操作を行います。





通信相手の待ち受け状態を確認したら、次ページへお進みください。

②通信相手を探索する

待ち受け状態になっている通信相手を、本製品から探します。

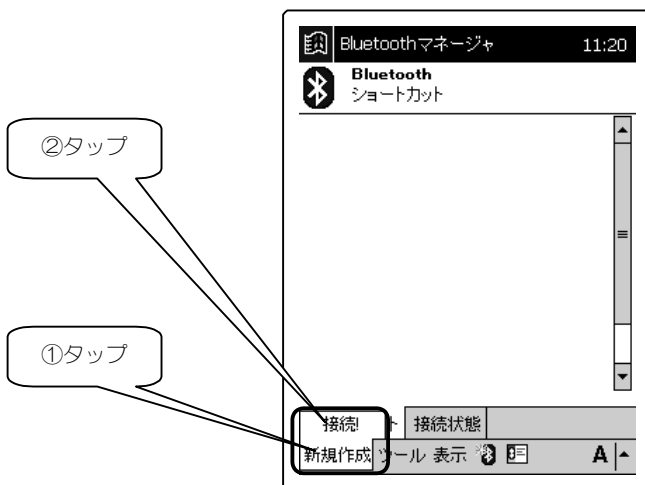
1 Windows CE機を起動します。

2 []→[Bluetoothマネージャ]をタップします。

インストール時に[インストール時にスタートメニューに追加]にチェックを付けなかった場合は、[]→[プログラム]内に登録されています。

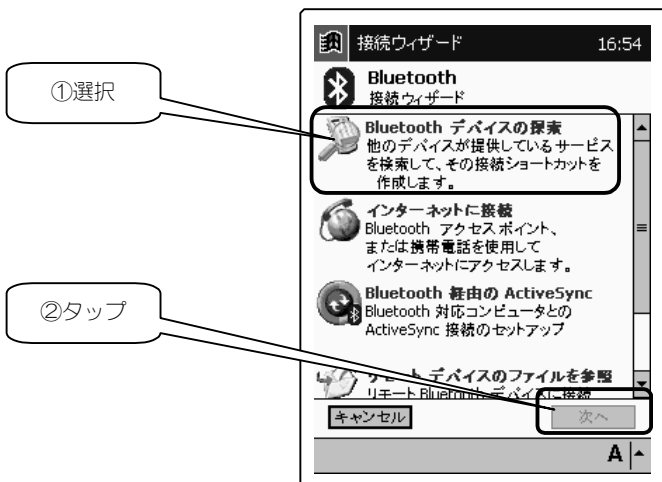


3 [新規作成]をタップして、[接続!]をタップします。

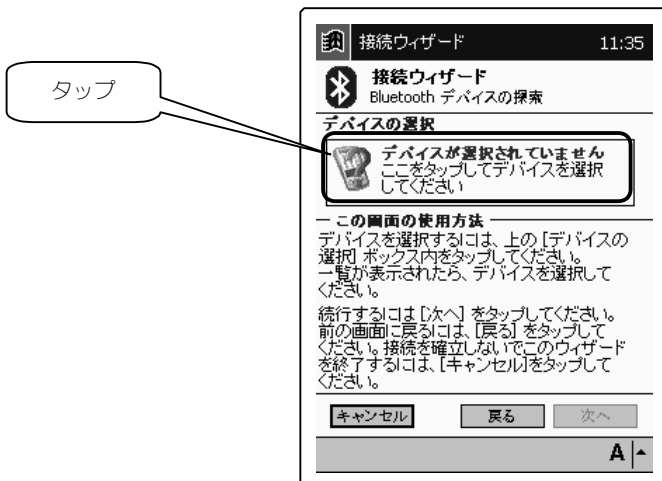


②通信相手を探索する

4 [Bluetoothデバイスの探索]を選択して、[次へ]をタップします。




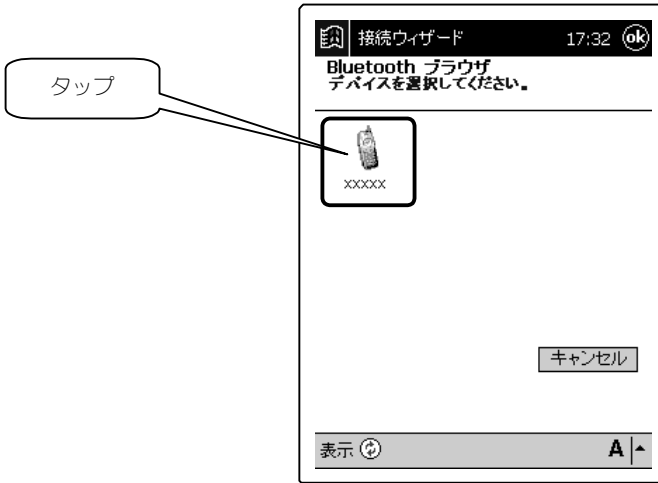
5 [デバイスの選択]をタップします。



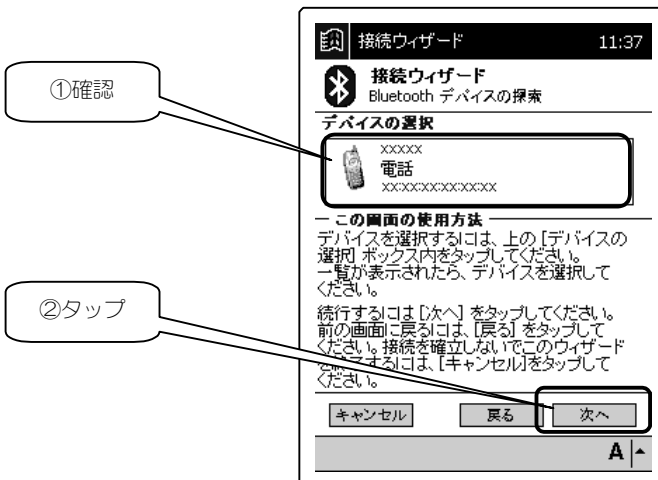
6 通信相手機器が探索されますので、接続する機器をタップします。

目的のデバイスが見つからない場合は、下記をご覧ください。

- ・  をタップして再探索してみてください。
- ・ 通信相手機器が探索に応じる状態で待ち受け状態になっていることをご確認ください。



7 通信相手機器が選択されていることを確認して、[次へ]をタップします。

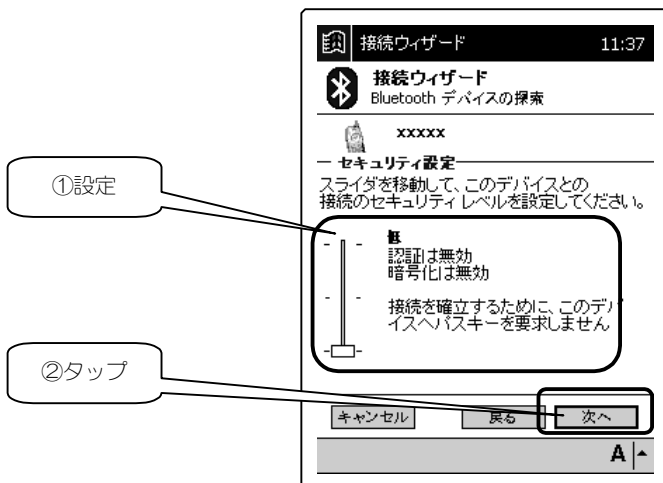


②通信相手を探索する

8 セキュリティ設定を選択して、[次へ]をタップします。

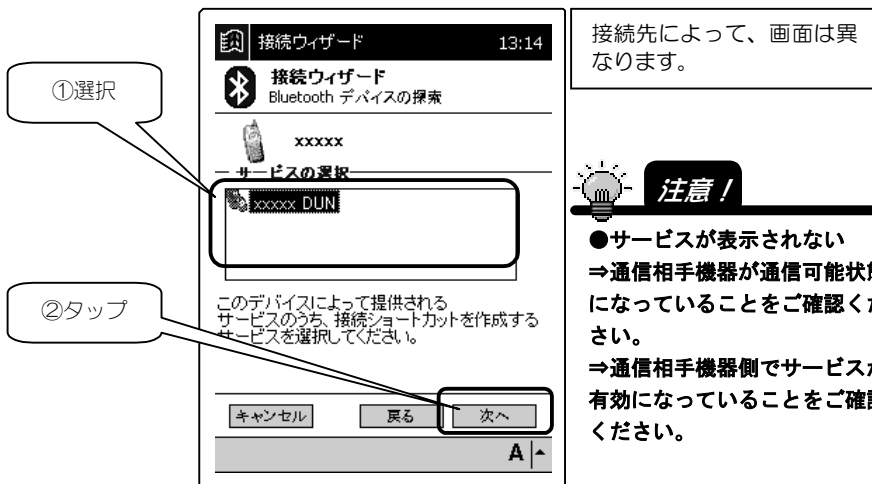
セキュリティ設定は[高][中][低]があります。

必要に応じて選択してください。

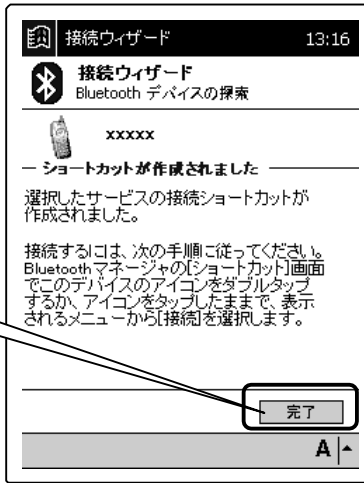


9 利用するサービスを選択し、[次へ]をタップします。

利用できるサービスは通信相手機器によって異なります。



10 [完了]をタップします。




接続先によって、画面は異なります。

タップ

以上で、選択した[通信相手機器-サービス]のショートカットが作成されました。【③使ってみよう】（次ページ）へお進みください。

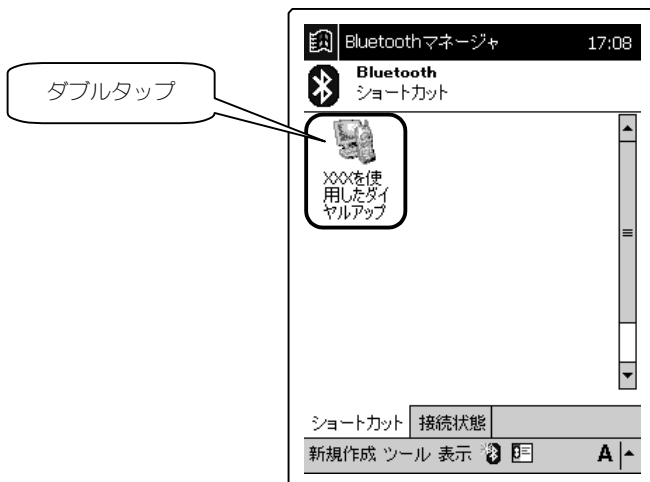
③使ってみよう

登録した[通信相手機器-サービス]のショートカットからサービスを実行します。

- 1 通信相手機器が待ち受け状態になっていることを確認します。
- 2 [] → [Bluetoothマネージャ] をタップします。



- 3 [ショートカット] タブで、利用したい[通信相手機器-サービス]のアイコンをダブルタップします。

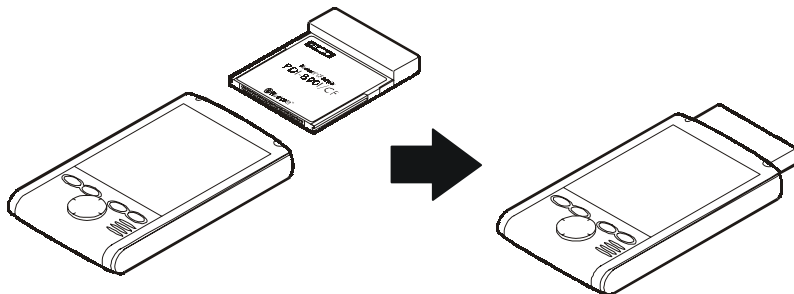



ここまでの本製品の基本操作です。サービス別で操作が異なりますので、応用編のページをご覧ください。


(参考) 本製品を待ち受けにする

他のBluetooth™搭載機器から本製品にアクセスしたい場合は、本製品を待ち受け状態にする必要があります。

1 ご使用のWindows CE機に本製品を挿入します。



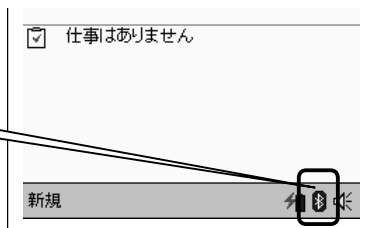
2 [Today]で  マークが表示されていることを確認します。

 マークの場合は、待ち受け状態になっていません。

下記をお試しください。

- ・本製品を抜き差ししてみてください。
- ・Windows CE機をソフトリセットしてみてください。

確認



参考

【Bluetoothを設定する】の【接続設定タブ】(87ページ)で【接続設定】の2つのチェックボックスにチェックが入っていないと待ち受けにできません。

以上が確認できれば、本製品は待ち受け状態になっています。
通信相手機器の操作を行ってください。

MEMO

インターネットに接続する

本製品を使って、携帯電話やパソコンのモデムやLAN経由でインターネットに接続する方法を説明します。

サービスを利用する前にご確認ください



注意!

- Bluetooth™搭載機器の操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- Windows CEではActiveSyncを行うとパソコン側のプロキシ設定等がWindows CE機側にコピーされる場合がありますのでご注意ください。
- Windows CEからダイヤルアップ接続を行う場合、接続設定の[発信元]が[勤務先]になっているため、不要な外線発信番号[0]が付加されてしまいます。あらかじめ[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[接続]→【ダイヤルのプロパティ】タブ (Pocket PC 2002の場合) で適切な設定に変更してください。

通信相手機器を待ち受け状態にします。

例えば、本製品から携帯電話のダイヤルアップでインターネットに接続したい場合は、携帯電話のBluetoothメニューなどからダイヤルアップの操作を行います。


通信相手の待ち受け状態を確認し、下記の該当ページへお進みください。


- ・携帯電話やパソコンのモデムを利用する場合 …………… 次ページ
- ・パソコンのLANやアクセスポイントを利用する場合は………… 42ページ

携帯電話やモデムを利用する

携帯電話/PHSやパソコンのモデムを利用したダイヤルアップによる接続について説明します。

1 Windows CE機を起動します。

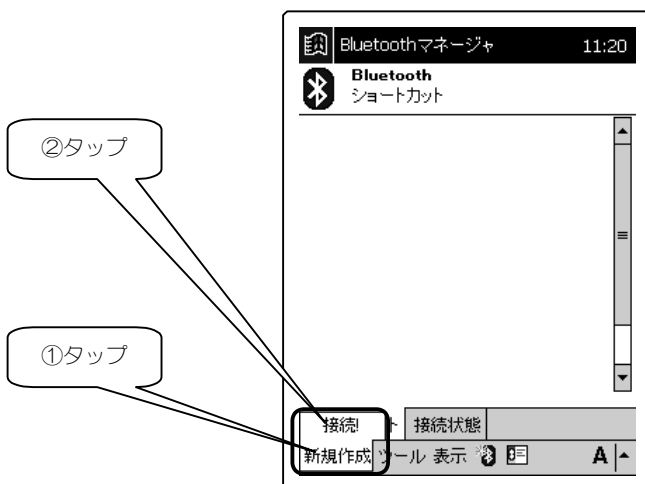
2 [] → [Bluetoothマネージャ] をタップします。

インストール時に[インストール時にスタートメニューに追加]にチェックを付けなかった場合は、[] → [プログラム] 内に登録されています。

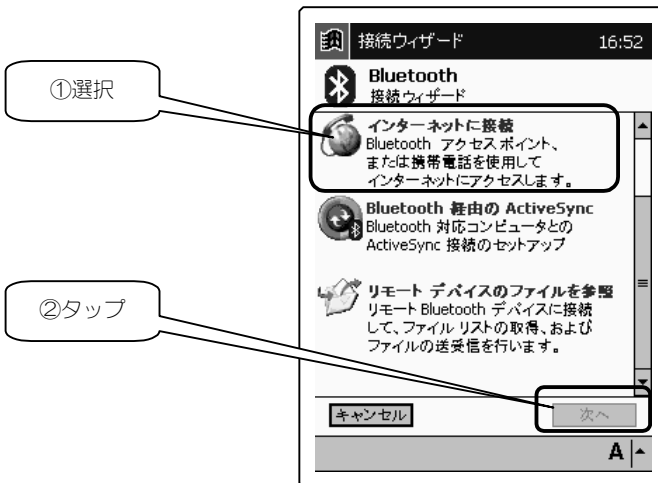


3 [新規作成] をタップして、[接続!] をタップします。

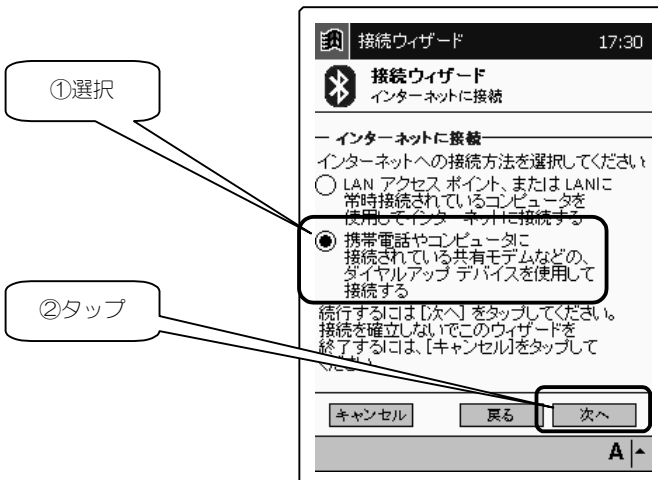
すでにショートカットを作成している場合は、ショートカットをダブルタップして、手順//へお進みください。



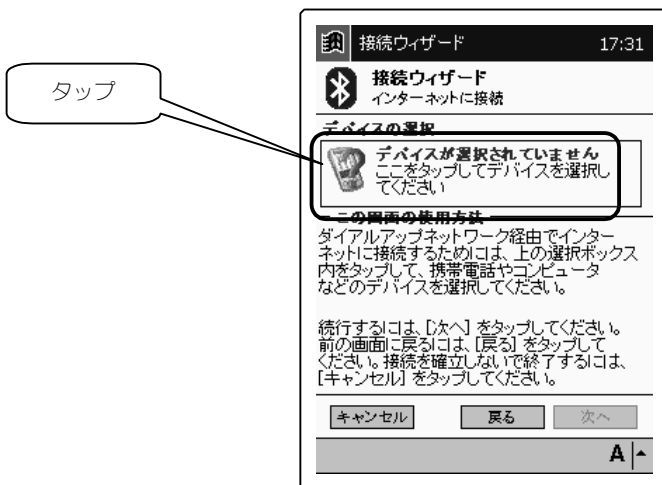
4 [インターネットに接続]を選択して、[次へ]をタップします。



5 [携帯電話や...]を選択して、[次へ]をタップします。




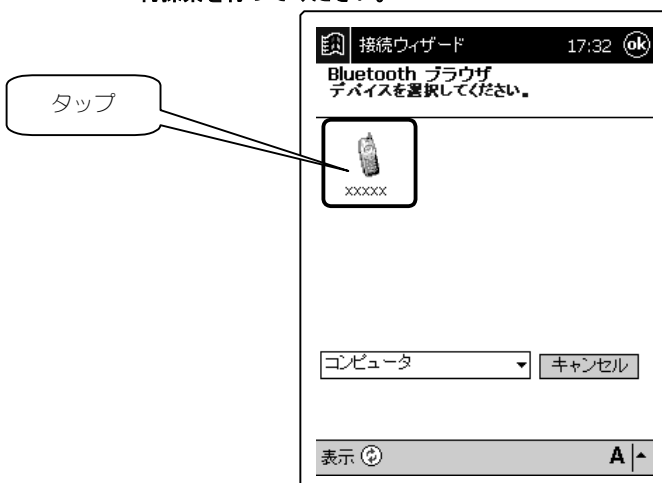
6 [デバイスの選択]をタップします。



7 通信相手機器が探索されますので、接続するデバイスをタップします。

目的のデバイスが見つからない場合は、下記をご覧ください。

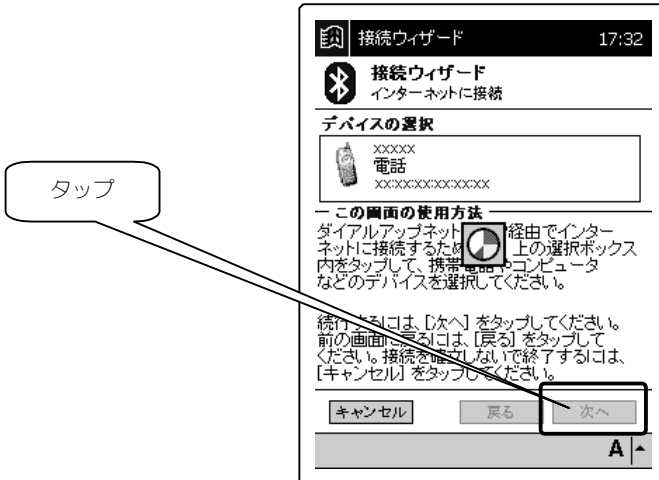
-  をタップして再探索してみてください。
- 通信相手機器が待ち受け状態になっていることをご確認ください。
- キャンセルボタン左側のリストボックスから [全てのデバイス] を選択して再探索を行ってください。



8 [次へ]をタップします。

ここで、携帯電話側で接続許可の操作が必要な場合があります。

パスキーの入力を要求された場合は、携帯電話に入力するものと同じ [パスキー] を入力し、OK をタップします。その後、[次へ] をタップします。



▼ [パスキー] が要求された場合



注意!

パスキーは、通信相手機器から先に入力することもあります。



参考

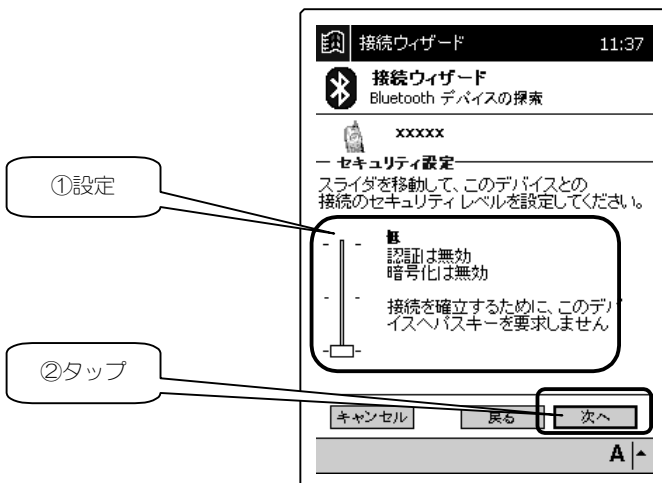
《パスキー》

Bluetooth™ 機器同士を接続する際にセキュリティのため、双方に共通の合言葉 (パスキー) を入力する必要があります。PIN コードと呼ばれることもあります。

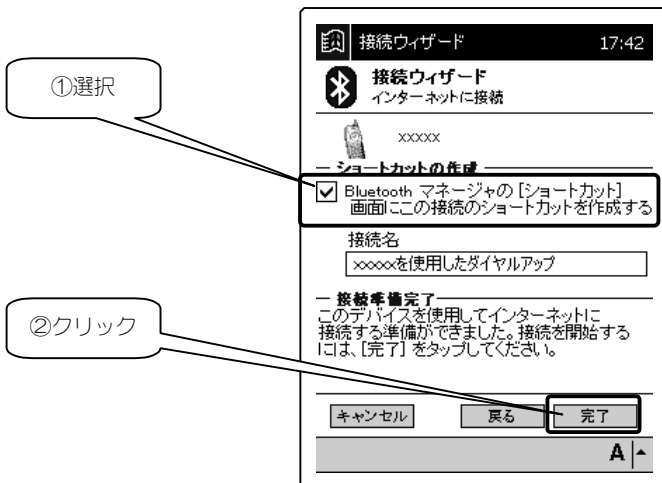
9 セキュリティ設定を選択して、[次へ]をタップします。

セキュリティ設定は[高][中][低]があります。

必要に応じて選択してください。

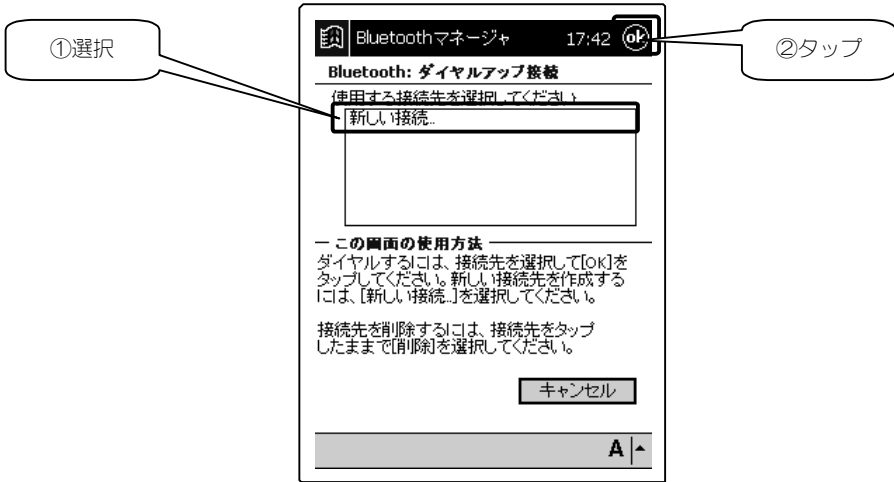


10 ショートカットを作成する場合はチェックを付け、[次へ]を
タップします。



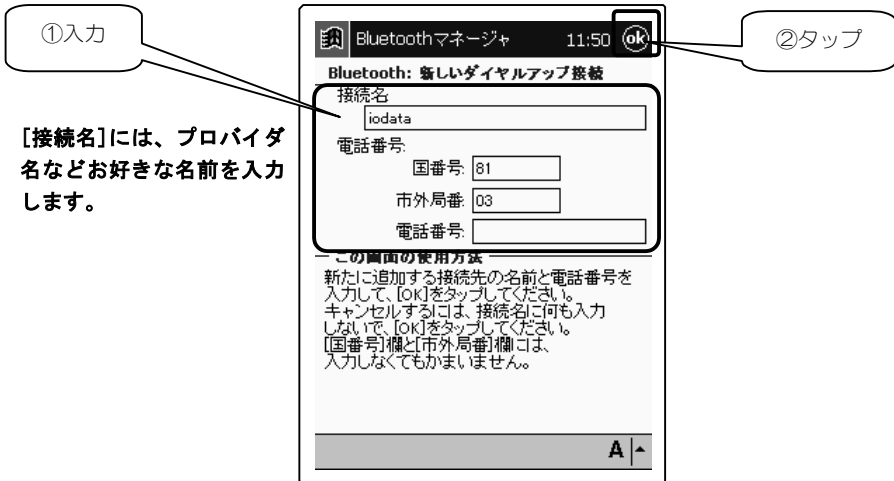
// [新しい接続]選択して、[OK]をタップします。

接続先をすでに登録している場合は、登録した接続先を選択して、手順18へお進みください。



12 プロバイダ情報を入力し、[OK]ボタンをタップします。

次回より、手順//の画面に[接続名]が表示されます。



[接続名]には、プロバイダ名など好きな名前を入力します。

13 プロバイダの設定を入力し、[接続]をタップします。

ユーザー名、パスワードなどをプロバイダからの資料をもとに入力してください。

機種により、画面が異なる場合があります。

①選択

②タップ

確認

14 インターネットに接続されます。

[ショートカット]タブに戻り、アイコンで接続中であることがわかります。次回からはショートカットをタップすることで接続できます。

確認

以上で、接続完了です。Webブラウザなどをご使用ください。



参考

《接続状態を確認する》

Bluetooth マネージャの[接続状態]で確認できます。

《接続を切断する》


(PocketPC 2000 の場合) [Today]右下の接続アイコンをタップして切断します。

(PocketPC 2002 の場合) 画面右上の接続アイコンをタップして切断します。

LANアクセスポイントを利用する

LAN接続されたパソコンやアクセスポイントに接続する方法を説明します。

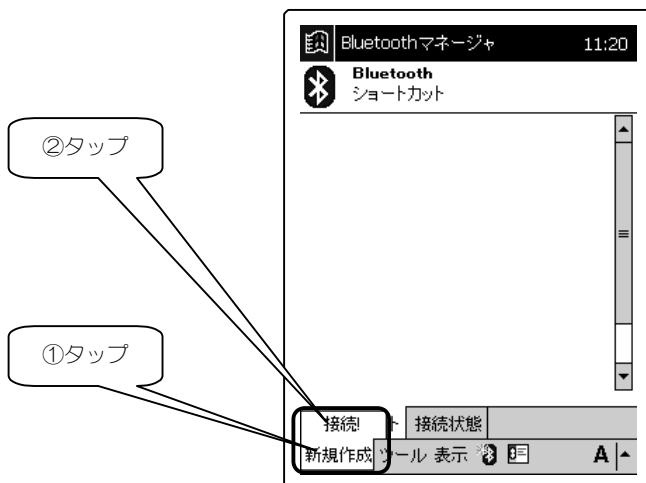
1 Windows CE機を起動します。

2 [] → [Bluetoothマネージャ] をタップします。

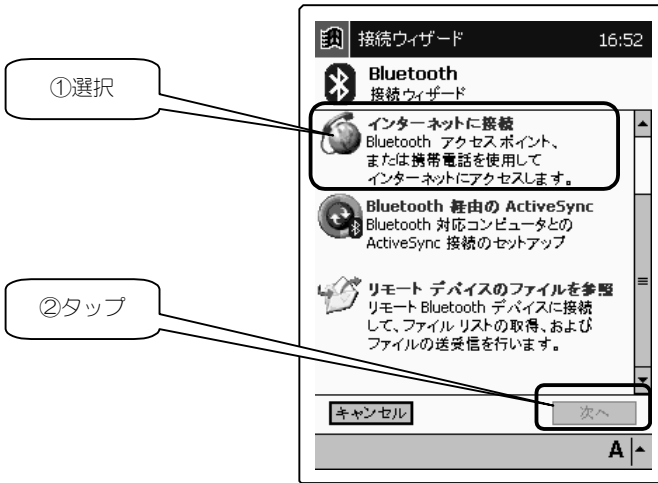


3 [新規作成] をタップして、[接続!] をタップします。

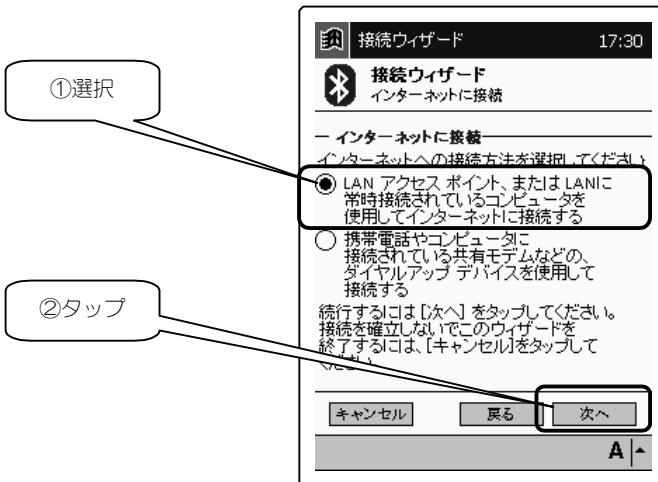
すでにショートカットを作成している場合は、ショートカットをダブルタップすれば、LAN接続できます。



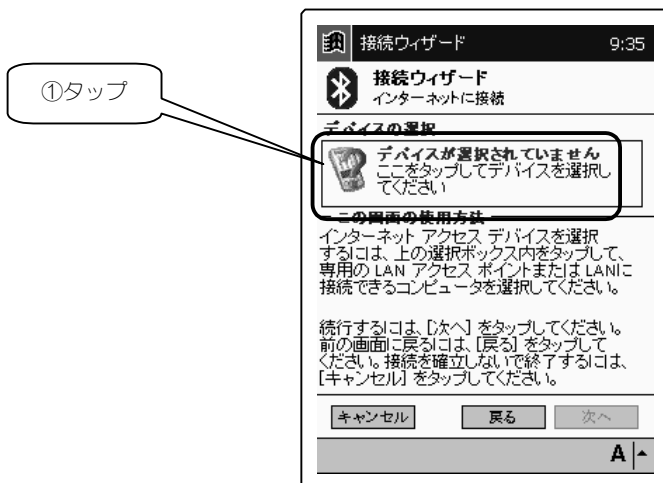
4 [インターネットに接続]を選択して、[次へ]をタップします。



5 [LANアクセスポイント...]を選択して、[次へ]をタップします。




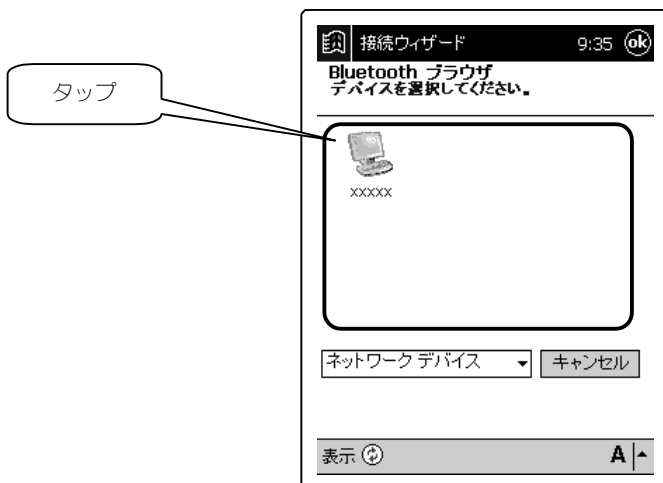
6 [デバイスの選択]をタップします。



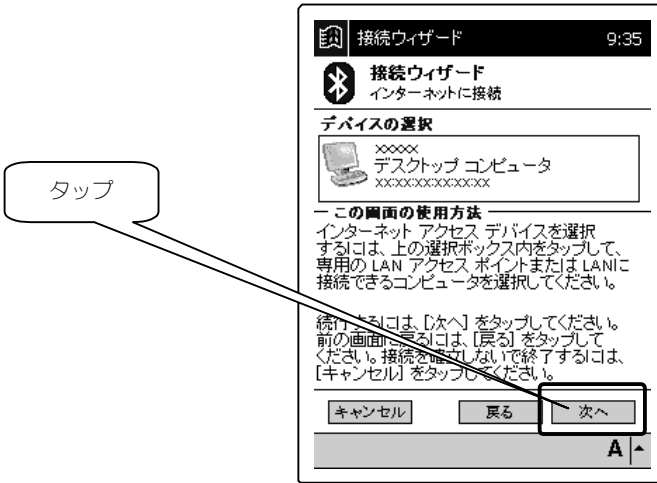
7 通信相手機器が探索されますので、接続するデバイスをタップします。

目的のデバイスが見つからない場合は、下記をご覧ください。

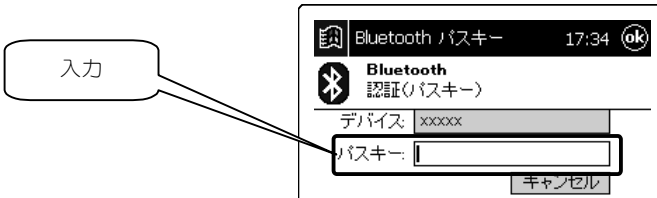
- ・  をタップして再探索してみてください。
- ・ 通信相手機器が待ち受け状態になっていることをご確認ください。
- ・ キャンセルボタン左側のリストボックスから [全てのデバイス] を選択して再探索を行ってください



8 [次へ]をタップします。



9 パスキーの入力を要求された場合は、通信相手機器に入力するものと同じ[パスキー]を入力します。



注意!

パスキーは、通信相手機器から先に入力することもあります。



参考

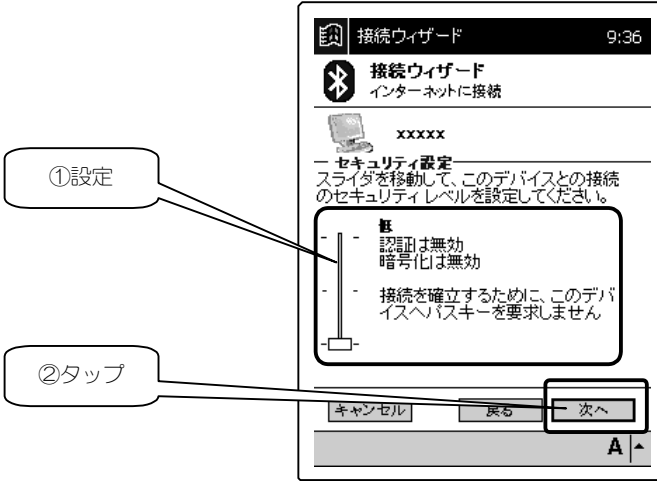
《パスキー》

Bluetooth™機器同士を接続する際にセキュリティのため、双方に共通の合言葉（パスキー）を入力する必要があります。PIN コードと呼ばれることもあります。

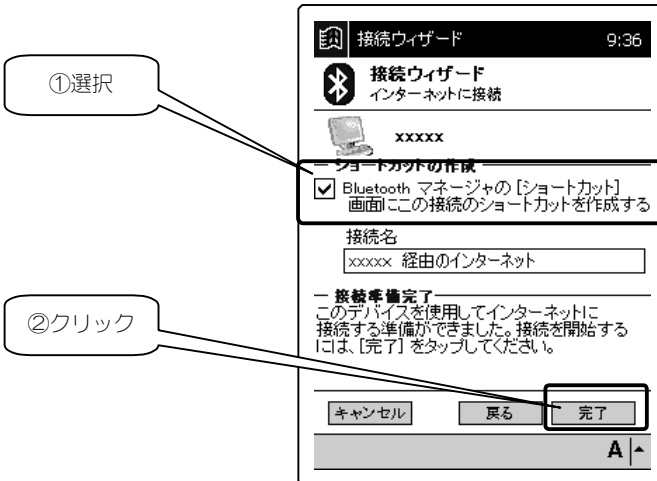
10 セキュリティ設定を選択して、[次へ]をタップします。

セキュリティ設定は[高][中][低]があります。

必要に応じて選択してください。

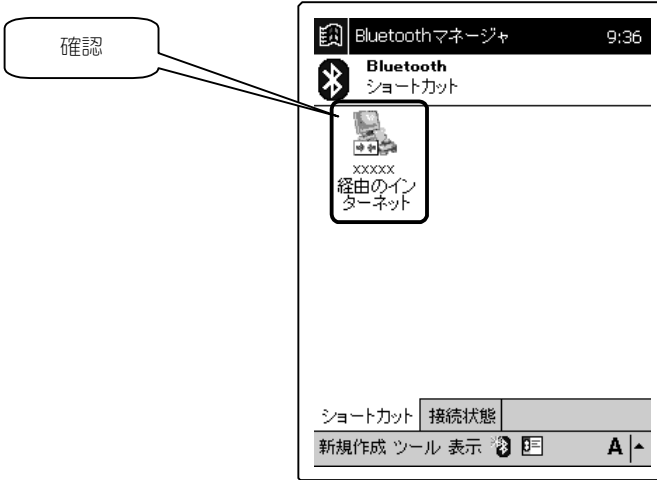


11 ショートカットを作成するかを選択し、[完了]をタップします。



12 LANに接続されます。

[ショートカット]タブに戻り、アイコンで接続中であることがわかります。次回からはこのショートカットをタップすることで接続できます。



以上で、接続完了です。Webブラウザなどをご使用ください。



参考

《接続状態を確認する》

Bluetooth マネージャの[接続状態]で確認できます。

《接続を切断する》

(PocketPC 2000 の場合) [Today]右下の接続アイコンをタップして切断します。

(PocketPC 2002 の場合) 画面右上の接続アイコンをタップして切断します。

MEMO

ActiveSyncを行う

本製品を使用してActiveSyncを行う方法を説明します。

サービスを利用する前にご確認ください



注意!

■Bluetooth™搭載機器の操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

■通信相手機器のBluetooth™がActiveSyncに対応している必要があります。
詳しくは、通信相手機器メーカーにご確認ください。

1 通信相手機器のBluetooth™シリアルポートが有効になっていることを確認します。

次ページの参考をご覧ください、ActiveSyncの設定を行ってください。

2 通信相手機器を待ち受け状態にします。

通信相手機器のBluetooth™メニューなどから待ち受け設定の操作を行います。

通信相手の待ち受け状態を確認し、次ページへお進みください。

ActiveSyncで接続する



参考

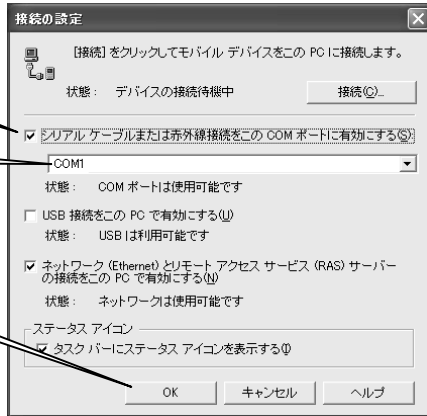
《ActiveSyncでの操作》

- ①[ファイル]メニューの[接続の設定]をクリックします。
 - ②[シリアルケーブルまたは赤外線...]にチェックを付けます。
 - ③通信相手機器のBluetooth™シリアルポートの番号を確認します。
確認方法については、お使いのBluetooth™機器の取扱説明書をご覧ください。
 - ④ポート番号を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
- ※ActiveSyncの仕様により、COM10以降は選択できません。使用しないモデムを削除するなどして、シリアルポートサービスのポートをCOM9以下に割り当てようしてください。

①チェック

②選択

④クリック



1 Windows CE機を起動します。

2 [スタート] → [Bluetoothマネージャ]をタップします。

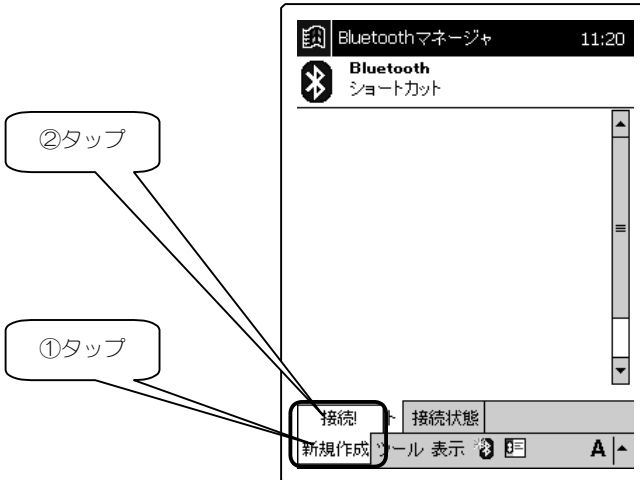
インストール時に[インストール時にスタートメニューに追加]にチェックを付けなかった場合は、[スタート] → [プログラム]内に登録されています。

タップ

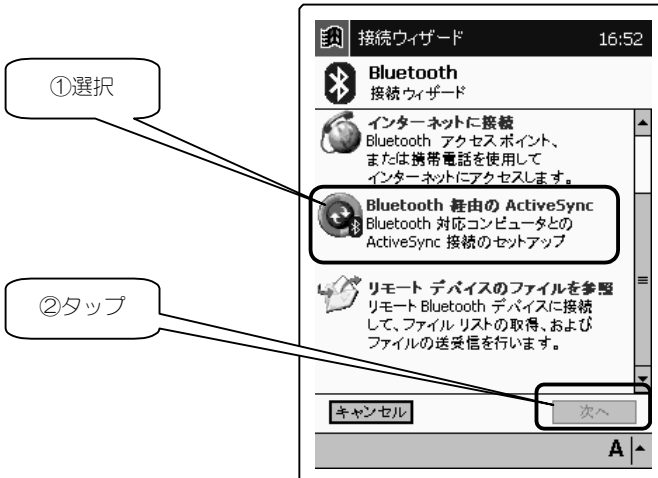


3 [新規作成]をタップして、[接続!]をタップします。

すでにショートカットを作成している場合は、ショートカットをダブルタップすれば接続できます。

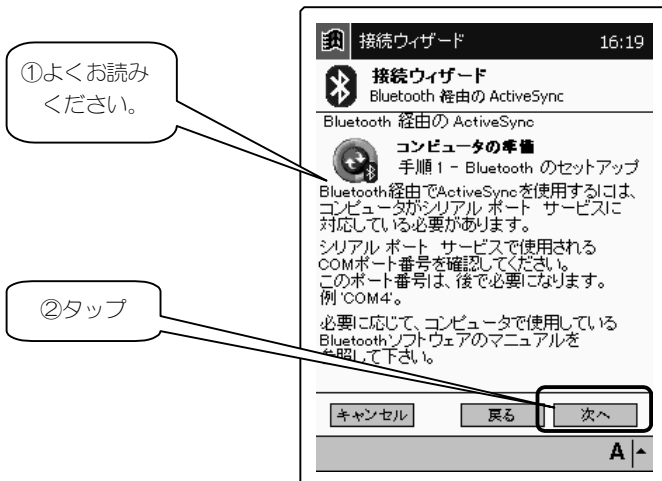


4 [Bluetooth経由のActiveSync]を選択して、[次へ]をタップします。



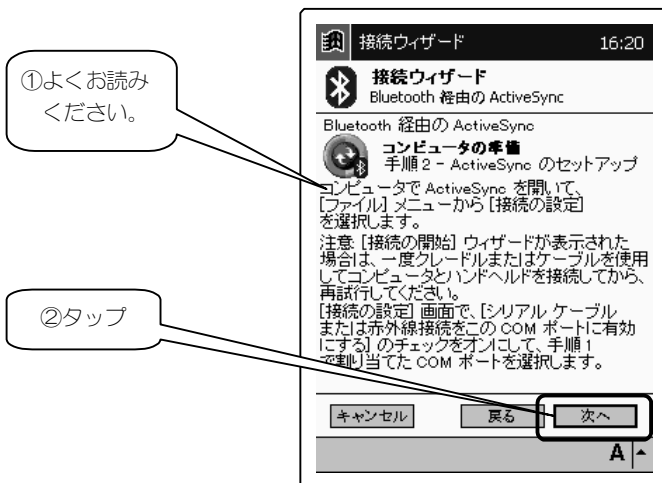
5 [次へ]をタップします。

ポート番号については、50ページの参考や通信相手機器の取扱説明書をご覧ください。

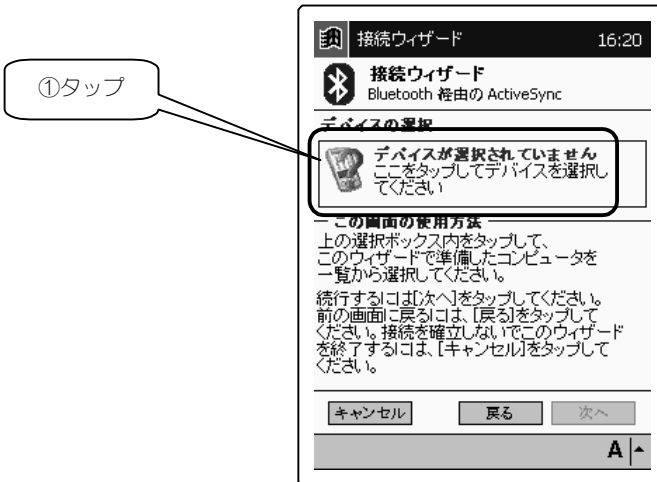


6 [次へ]をタップします。

ActiveSyncの設定については、50ページの参考をご覧ください。




7 [デバイスの選択]をタップします。



8 通信相手機器が探索されますので、接続するデバイスをタップします。

目的のデバイスが見つからない場合は、下記をご覧ください。

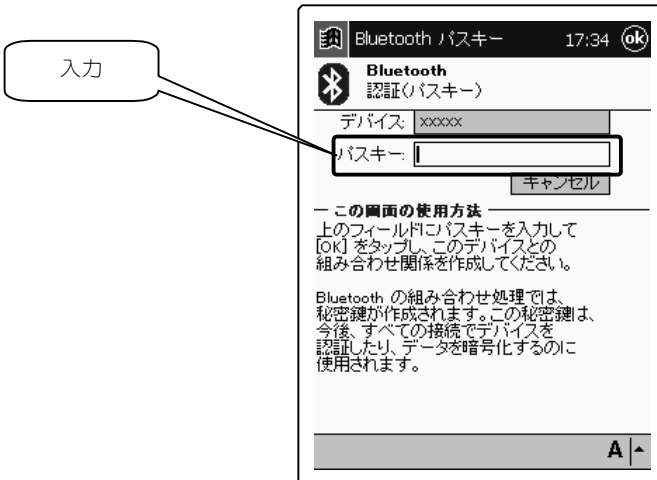
- ・  をタップして再探索してみてください。
- ・ 通信相手機器が待ち受け状態になっていることをご確認ください。
- ・ キャンセルボタン左側のリストボックスから [全てのデバイス] を選択して再探索を行ってください。



9 [次へ]をタップします。



10 パスキーの入力を要求された場合は、通信相手機器に入力するものと同じ[パスキー]を入力します。



// 通信相手機器に複数のBluetooth™シリアルポートがある場合は、下記の画面が表示されます。

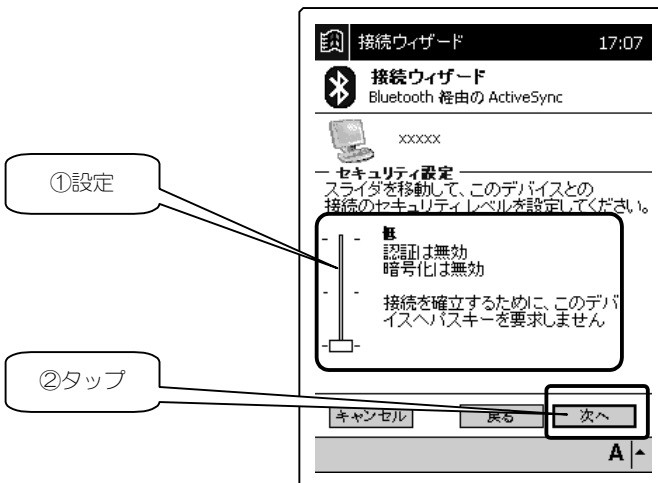
使用するポートを選択して、[次へ]をタップします。



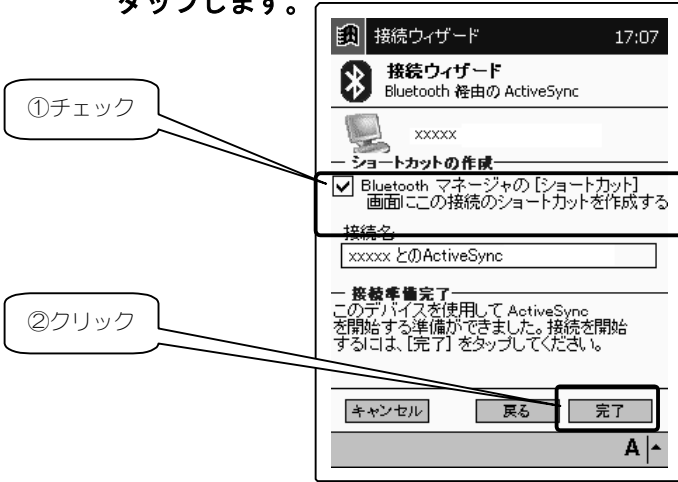
12 セキュリティ設定を選択して、[次へ]をタップします。

セキュリティ設定は[高][中][低]があります。

必要に応じて選択してください。

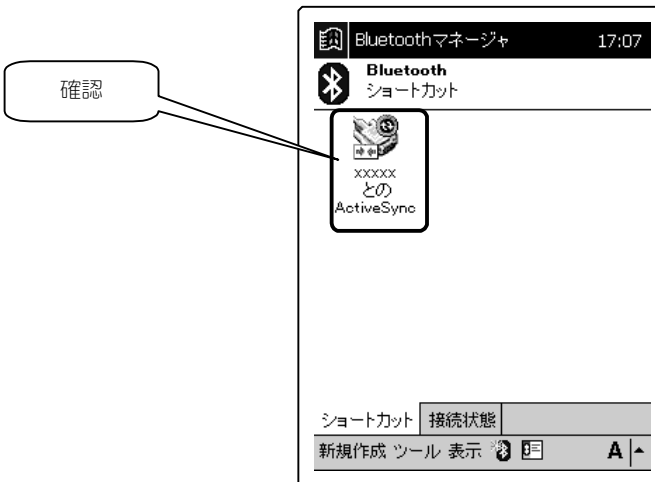


13 ショートカットを作成する場合はチェックを付け、[次へ]をタップします。



14 ActiveSyncで接続されます。

[ショートカット]タブに戻り、アイコンで接続中であることがわかります。次回からはショートカットをタップすることで接続できます。



以上で、接続完了です。

**参考****《接続状態を確認する》**

Bluetooth マネージャの[接続状態]で確認できます。

《接続を切断する》

(PocketPC 2000 の場合) [Today]右下の接続アイコンをタップして切断します。

(PocketPC 2002 の場合) 画面右上の接続アイコンをタップして切断します。

MEMO

ファイルを交換する

ファイルを交換する方法を説明します。

サービスを利用する前にご確認ください



注意!


Bluetooth™搭載機器の操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。


- 1 通信相手機器のファイル転送が有効になっていることを確認します。
- 2 通信相手機器を待ち受け状態にします。
通信相手機器のBluetooth™メニューなどから待ち受け設定の操作を行います。

通信相手の待ち受け状態を確認し、次ページへお進みください。

ファイルを交換する

1 Windows CE機を起動します。

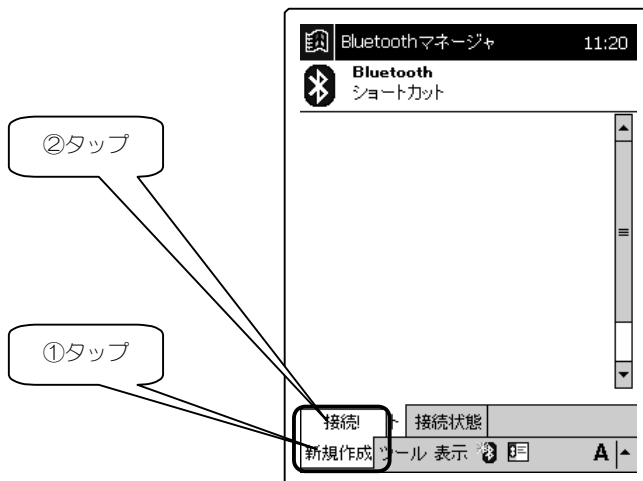
2 [] → [Bluetoothマネージャ] をタップします。

インストール時に[インストール時にスタートメニューに追加]にチェックを付けなかった場合は、 → [プログラム]内に登録されています。

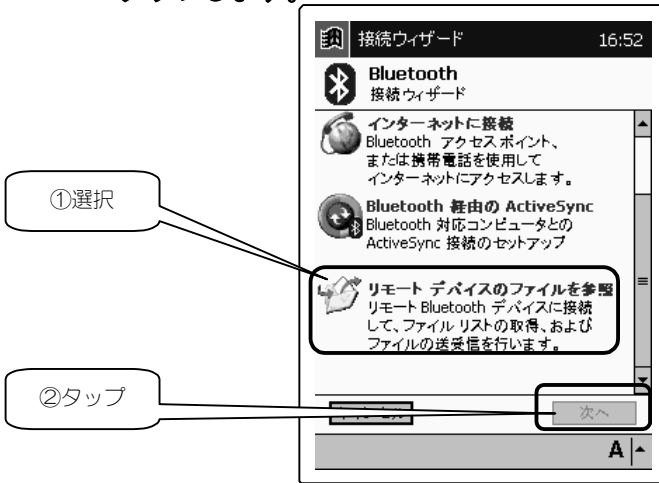


3 [新規作成] をタップして、[接続!] をタップします。

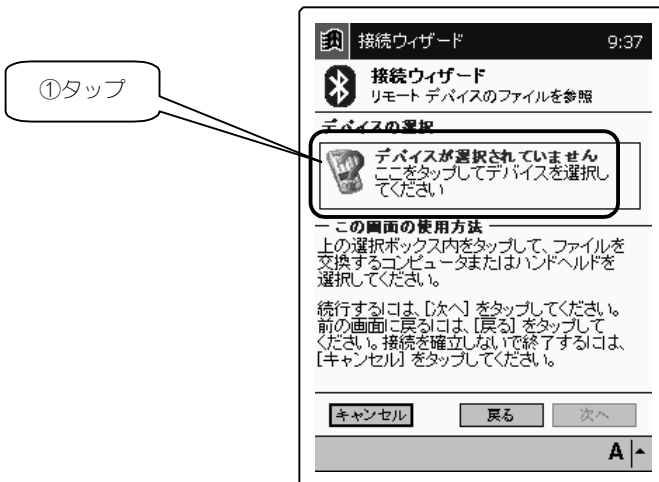
すでにショートカットを作成している場合は、ショートカットをダブルタップすれば接続できます。



4 [リモートデバイスのファイルを参照]を選択して、[次へ]をタップします。




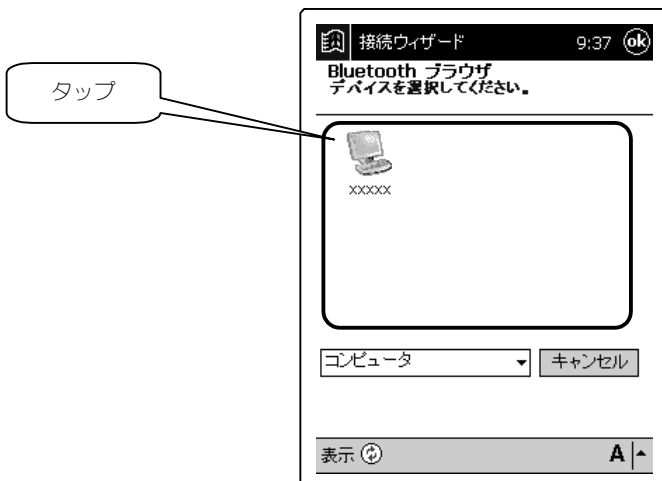
5 [デバイスの選択]をタップします。



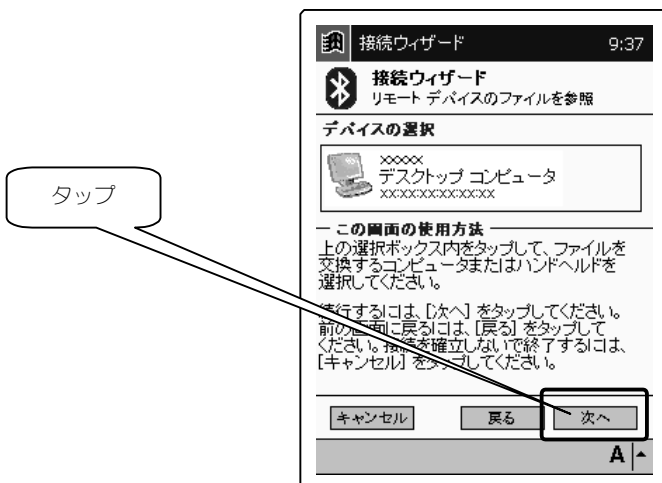
6 通信相手機器が探索されますので、接続する機器をタップします。

目的の機器（デバイス）が見つからない場合は、下記をご覧ください。

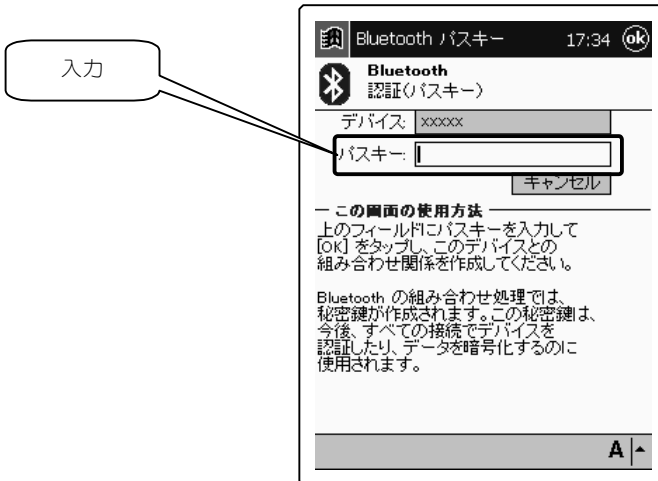
- ・  をタップして再探索してみてください。
- ・ 通信相手機器が待ち受け状態になっていることをご確認ください。
- ・ キャンセルボタン左側のリストボックスから [全てのデバイス] を選択して再探索を行ってください。



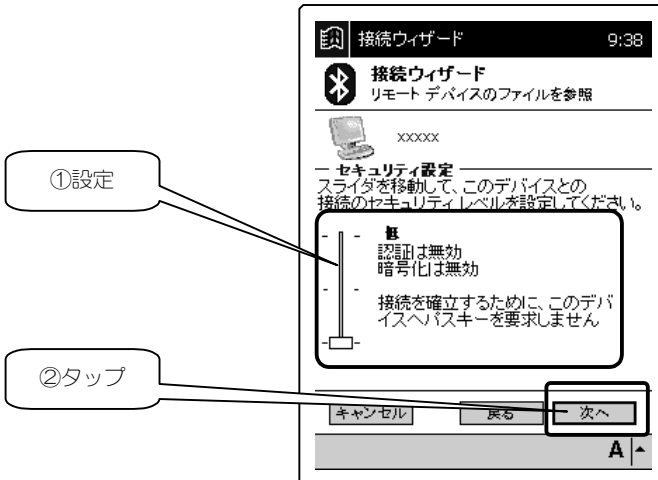
7 [次へ]をタップします。



- 8 パスキーの入力を要求された場合は、通信相手機器に入力するものと同じ[パスキー]を入力します。

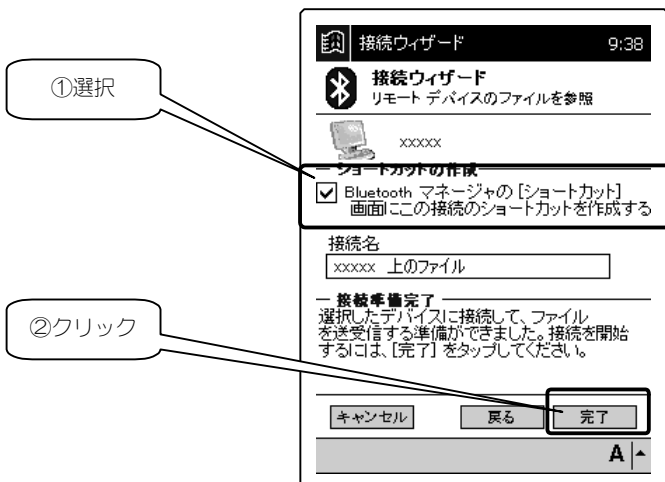


- 9 セキュリティ設定を選択して、[次へ]をタップします。
セキュリティ設定は[高][中][低]があります。
必要に応じて選択してください。



ファイルを交換する

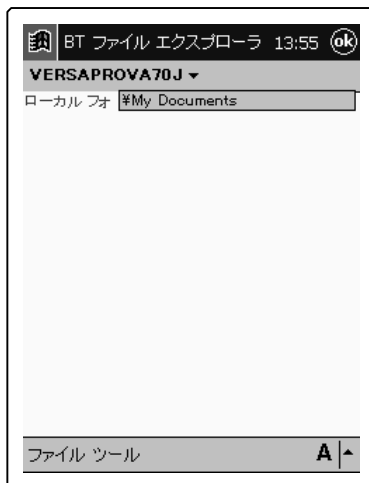
10 ショートカットを作成するかを選択し、[完了]をタップします。



// [BTファイルエクスプローラ]が開きます。

[BTファイルエクスプローラ]でファイルの送受信ができます。

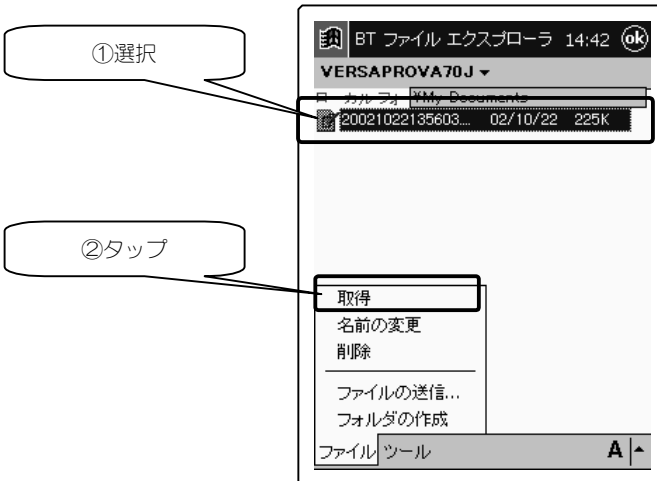
方法は次ページ以降をご覧ください。



●ファイルを受信する

通信相手機器から、ファイルを受信します。

- ①通信相手機器上のファイルが表示されますので、受信したいファイルを選択します。
- ②[ファイル]→[取得]を順にタップします。
⇒ファイルを受信します。



参考

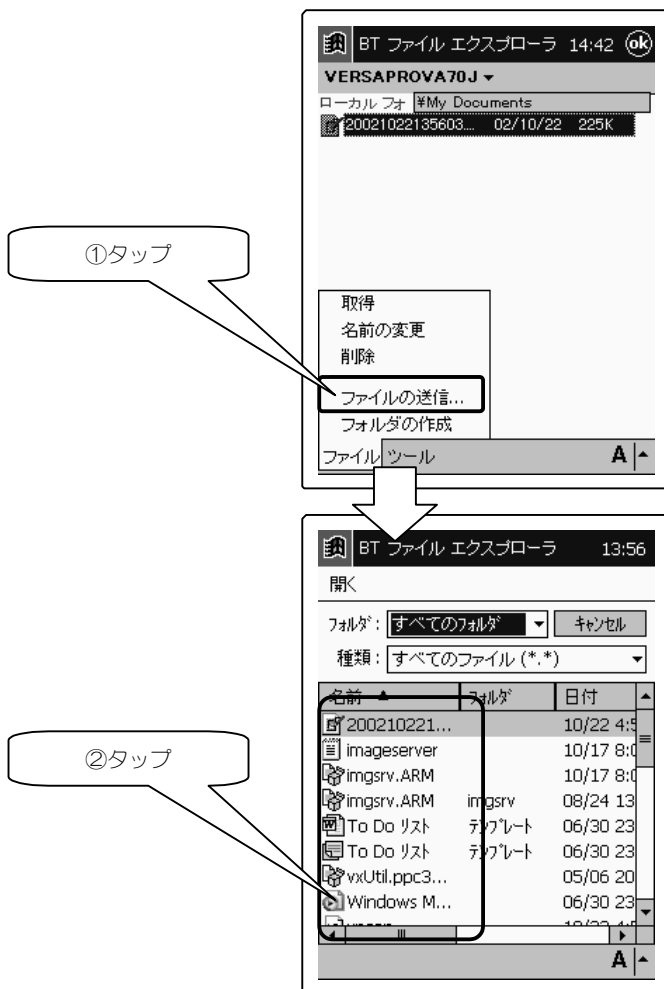
- ファイルを長押しすると、メニューからファイルを取得することもできます。
- ファイルを保存するフォルダについて
それぞれ下記のようになります。
通信相手機器のフォルダ…通信相手機器のソフトウェアなどから共有しているフォルダをご確認ください。
本製品を装着したWindows CE機のフォルダ…[BT ファイルエクスプローラ]の[ローカルフォルダ]で確認できます。([ツール]→[ローカルフォルダの設定]で変更できます。)



●ファイルを送信する

本製品から、ファイルを送信します。

- ①[ファイル]→[ファイルの送信]を順にタップします。
 - ②送信したいファイルをタップします。
- ⇒通信相手機器にファイルを送信します。

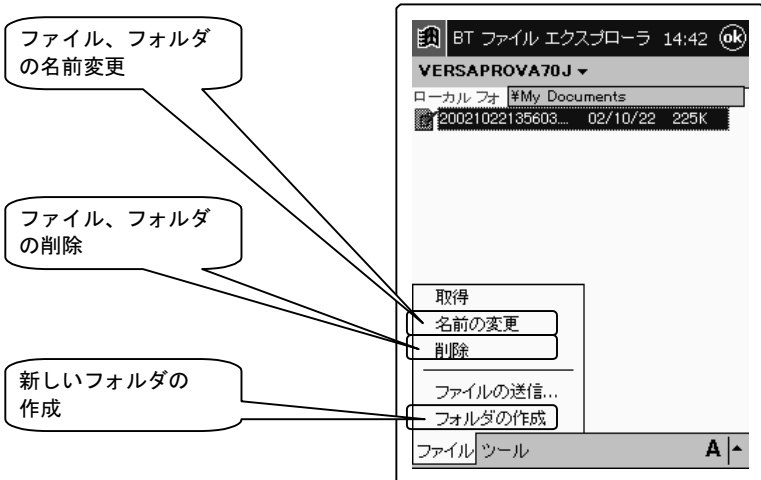




参考

その他の[ファイル]メニューについて

- ファイル、フォルダの名前を変える
⇒名前を変えるファイル、フォルダを選択して、[ファイル]→[名前の変更]を順にタップします。または、ファイルやフォルダを長押しするとメニューから名前の変更ができます。
- ファイル、フォルダを削除する
⇒削除するファイル、フォルダを選択して、[ファイル]→[削除]を順にタップします。または、ファイルやフォルダを長押しするとメニューから削除できます。
- 新しいフォルダを作成する
⇒[ファイル]→[フォルダ作成]を順にタップします。

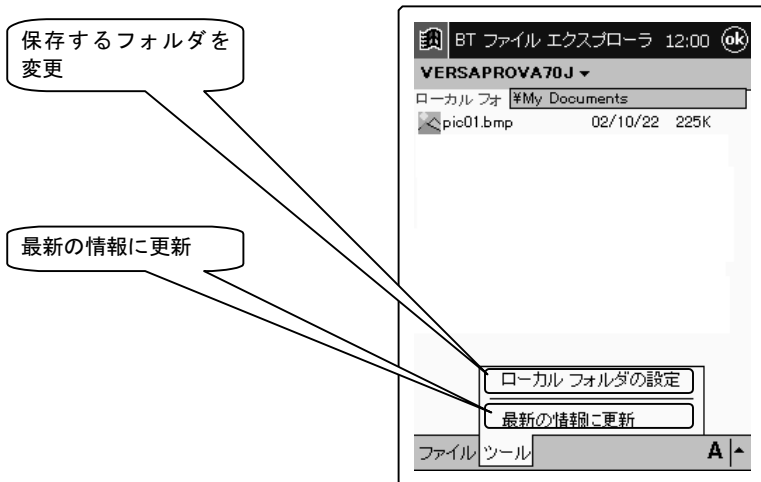




参考

[ツール]メニューについて

- 本製品側のファイルを保存するフォルダを変更する
⇒[ツール]→[ローカルフォルダの設定]を順にタップして、フォルダを変更します。
- 通信相手機器のファイル情報の内容を更新する
⇒[ツール]→[最新の情報に更新]を順にタップします。



LANに接続する

本製品を使って、LANに接続する方法を説明します。

サービスを利用する前にご確認ください



注意!

Bluetooth™搭載機器の操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

通信相手機器を待ち受け状態にします。

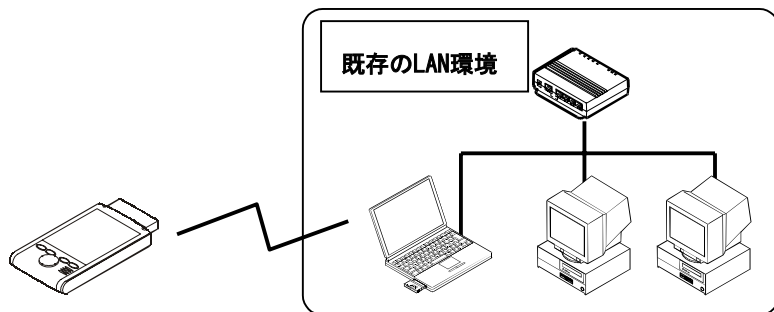
通信相手機器のBluetooth™メニューなどから待ち受けの操作を行います。

通信相手の待ち受け状態を確認し、次ページへお進みください。

LANに接続する

LANに接続する場合は、[新規作成]の[インターネットに接続する]から行います。

【インターネットに接続する】の【LANアクセスポイントを利用する】（42ページ）をご覧ください。



名刺交換する

名刺交換を行う方法を説明します。

サービスを利用する前にご確認ください

- 1 交換する名刺（vCard）を決めます。
Bluetooth設定の【情報交換タブ】（89ページ）で指定します。
- 2 通信相手機器を待ち受け状態にします。
通信相手機器のBluetooth™メニューなどから名刺交換の操作を行います。




注意！


Bluetooth™搭載機器の操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

通信相手の待ち受け状態を確認したら、次ページへお進みください。


名刺交換する

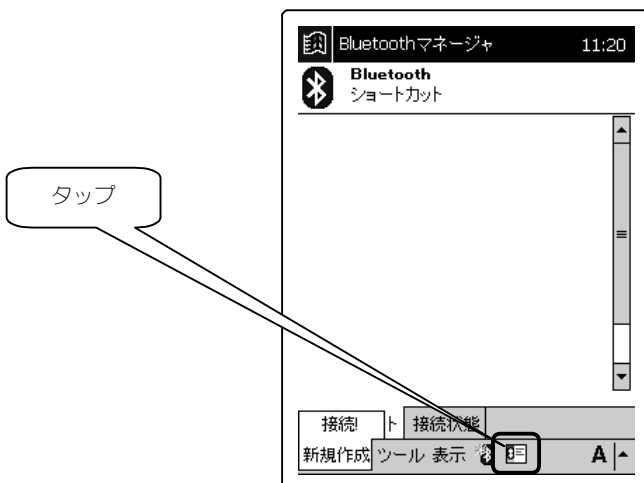
1 Windows CE機を起動します。

2 [] → [Bluetoothマネージャ] をタップします。

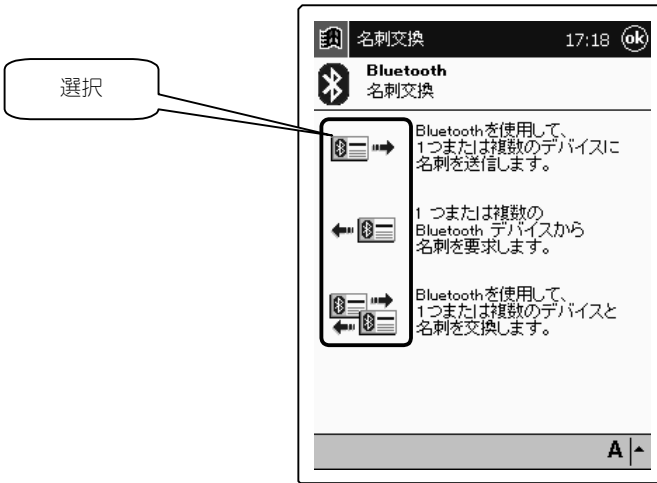
インストール時に[インストール時にスタートメニューに追加]にチェックを付けなかった場合は、[] → [プログラム]内に登録されています。



3 [] をタップします。




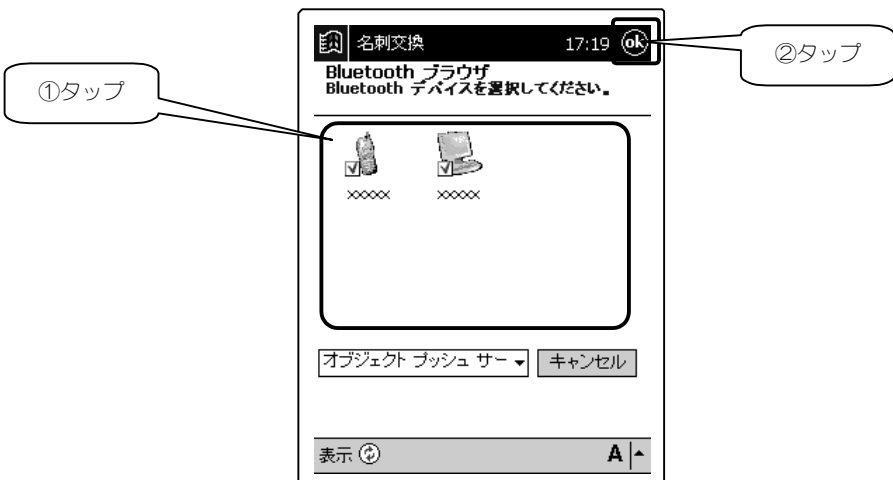
4 名刺交換の形態を選択します。



5 通信相手機器が探索されますので、接続するデバイスを選び、[OK]をタップします。

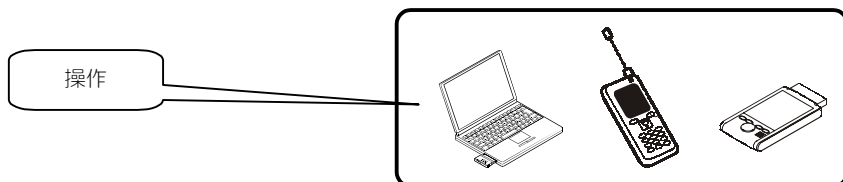
目的のデバイスが見つからない場合は、下記をご覧ください。

- ・  をタップして再探索してみてください。
- ・ 通信相手機器が待ち受け状態になっていることをご確認ください。
- ・ キャンセルボタン左側のリストボックスから [全てのデバイス] を選択して再探索を行ってください。



6 通信相手機器で名刺の受け取り、送信の操作を行ってください。

方法については、通信相手機器の取扱説明書をご覧ください。



7 パスキーの入力を要求された場合は、通信相手機器に入力するものと同じ[パスキー]を入力します。



8 名刺交換が完了したら、[終了]をタップします。

交換できない場合は、【困った時には】の101ページをご覧ください。



これで、名刺交換できました。

予定表、仕事、連絡先を送信する

予定表、仕事、連絡先を通信相手機器に送ることができます。



注意!

[メモ]や[受信トレイ]は受信のみできます。

サービスを利用する前にご確認ください

通信相手機器を待ち受け状態にします。

通信相手機器のBluetooth™メニューなどから待ち受け設定の操作を行います。




注意!

Bluetooth™搭載機器の操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

通信相手の待ち受け状態を確認したら、次ページへお進みください。

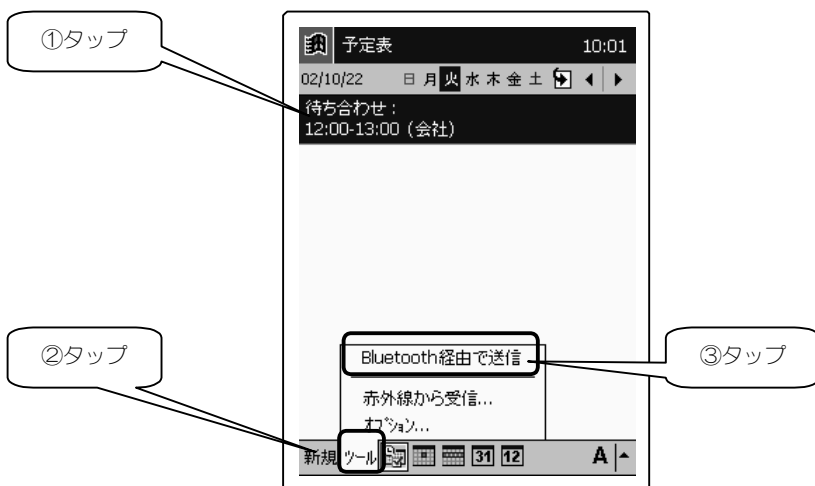
予定表、仕事、連絡先を送信する

- 1 Windows CE機を起動します。
- 2 []から送信するアイコンをタップします。
[予定表]、[仕事]、[連絡先]の送信ができます。




- 3 送信する予定、仕事、連絡先を選び、[ツール]→[Bluetooth 経由で送信]をタップします。

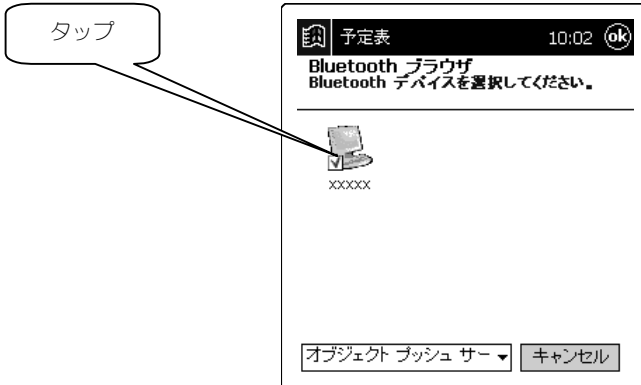
▼[予定表]の例



4 通信相手機器が探索されますので、送信する機器を選びます。

目的のデバイスが見つからない場合は、下記をご覧ください。

- ・  をタップして再探索してみてください。
- ・ 通信相手機器が待ち受け状態になっていることをご確認ください。
- ・ キャンセルボタン左側のリストボックスから [全てのデバイス] を選択して再探索を行ってください。



5 送信されます。




以上で送信されました。

MEMO

その他


Bluetoothマネージャを使う

Bluetoothマネージャのリファレンスです。

 80ページ


Bluetoothを設定する

本製品の設定ツールのリファレンスです。

 85ページ


本製品を削除する（アンインストール）

インストールした情報を削除します。

 93ページ


困った時には

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

 97ページ


用語解説

本製品関連の用語について説明します。

 103ページ

仕様


本製品の仕様です。


 105ページ

Bluetoothマネージャを使う

Bluetoothマネージャでは、本製品で利用できるサービス进行操作できます。

Bluetoothマネージャを起動する

1 [] → [Bluetoothマネージャ] をタップします。

インストール時に[インストール時にスタートメニューに追加]にチェックを付けなかった場合は、 → [プログラム]内に登録されています。






2 [Bluetoothマネージャ]が起動します。



これで、Bluetoothマネージャが起動しました。

Bluetoothマネージャ

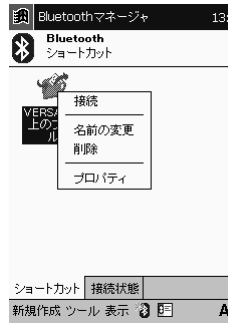
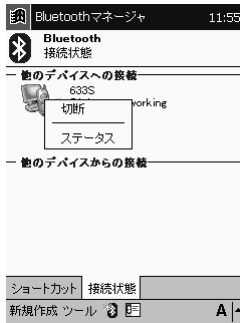
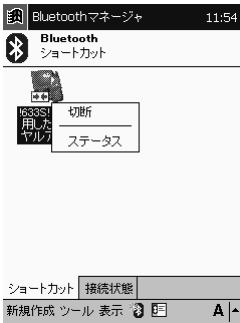


[ショートカット]タブ	[新規作成]で作成したショートカットが表示されます。ショートカットをダブルタップすることにより簡単に[通信相手機器-サービス]を利用することができます。方法については、[応用編]をご覧ください。
[接続状態]タブ	現在の接続状態を表示します。
[新規作成]	ショートカットを作成するためのウィザードです。画面の指示にしたがっていけば、各[通信相手機器-サービス]のショートカットが作成できます。
[ツール]	[組み合わせられたデバイス]：他のBluetooth™機器を承認済みデバイスとして登録することができます。(83ページ参照) [名刺交換]  アイコンをご覧ください。
[表示]	[アイコン]：ショートカットをアイコン表示します。 [一覧]：ショートカットを一覧表示します。
 アイコン	[新規作成]をご覧ください。
 アイコン	名刺交換します。詳しくは71ページをご覧ください。



参考

- アイコンを長押しする（タップし続ける）と…
[ショートカット]タブや[接続状態]タブでアイコンを長押しすると、メニューが表示されます。
 - ・接続中のアイコンや接続状態で表示されているアイコン
[切断]…接続を切断します。
[ステータス]…接続のステータスを表示します。
 - ・未接続のアイコン
[接続]…通信を開始します。
[名前の変更]…ショートカット名を変更します。
[削除]…ショートカットを削除します。
[プロパティ]…接続のプロパティを表示します。



- アイコンの種類について
 - ・組み合わせられたデバイスは、[ショートカット]タブのアイコンでチェックマークが付きます
- ・接続中の場合、下のようなマークが付きます。



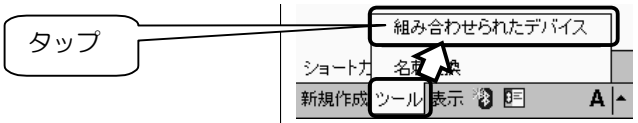
● [組み合わせられたデバイス]を追加する



参考

[組み合わせられたデバイス]は、他のBluetooth™機器では、[ペアリング済みのデバイス]と表記される場合があります。

1 [ツール]→[組み合わせられたデバイス]をタップします。



2 [追加]をタップします。

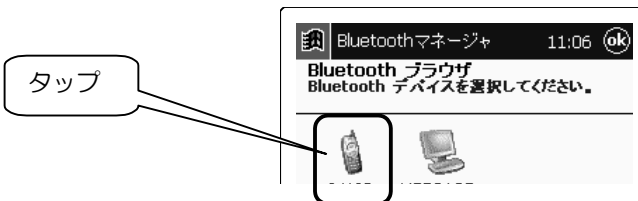


3 アイコンをタップします。

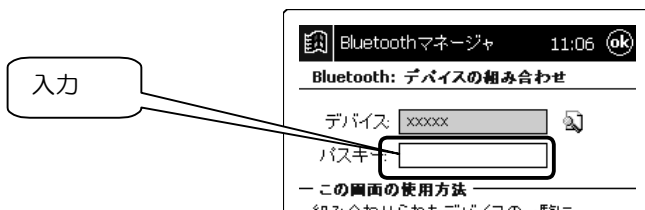
通信できる機器が探索されます。



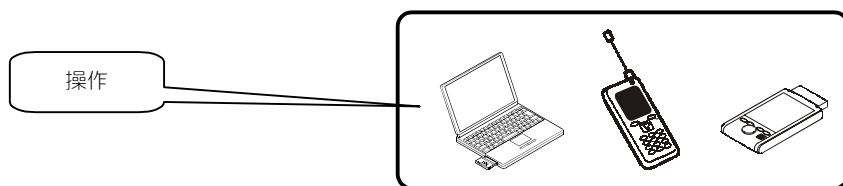
4 組み合わせる機器をタップします。



5 パスキーを入力します。



6 組み合わせる機器でも同じパスキーを入力します。



7 組み合わせられたデバイスに追加されました。



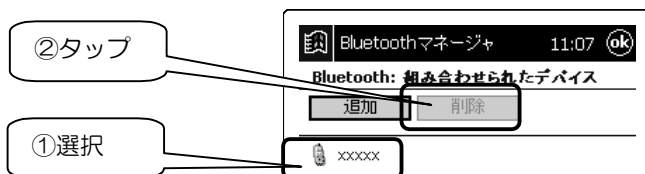
参考

組み合わせられたデバイスは、
[ショートカット]タブのアイコンで
チェックマークが付きます。



● [組み合わせられたデバイス] を削除する

1 削除する通信機器を選択して、[削除]をタップします。

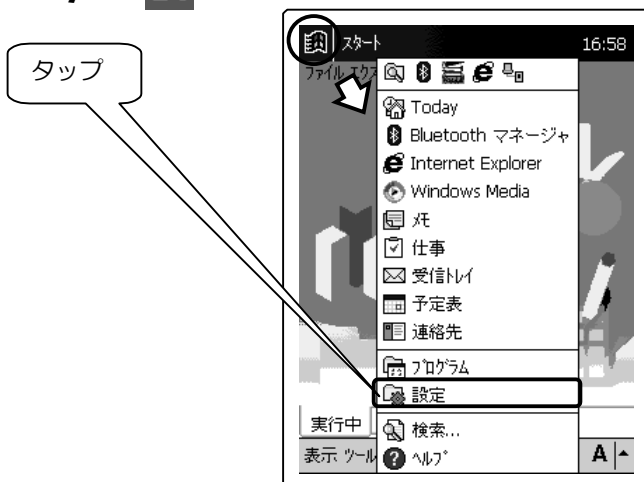


Bluetoothを設定する

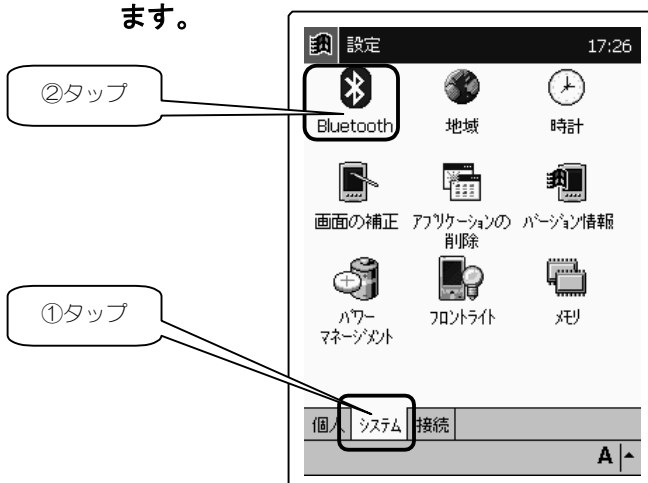
本製品を使用した各サービスに関する設定ができます。

設定画面を起動する

1 [] → [設定] をタップします。




2 [システム] タブをタップし、[Bluetooth] アイコンをタップします。



全般タブ



現在のプロファイル

通信環境に合わせた設定をプロファイルとして登録することができます。プロファイルを新規作成する場合は、 アイコンをクリックします。

注意：Bluetooth™のProfileとは異なります。

Bluetoothのステータス

現在のBluetooth™がオンかオフかを表示します。

接続設定タブ



デバイス識別情報

- ・名前
他の機器からみた時の名前を示します。
- ・アドレス
本製品のBluetooth™アドレスです。

接続設定

- ・他のデバイスからの接続を許可する
チェックを付けると、「すべてのデバイス」か「組み合わせられたデバイス」のどちらかで接続ができるようになります。
- ・他のデバイスから検索できるようにする
チェックを付けると、他の機器から検索したときに、見つかるようになります。



参考

- [組み合わせされたデバイス]は、他のBluetooth™機器では、[ペアリング済みのデバイス]と表記される場合があります。
- [他のデバイスから検索できるようにする]のチェックを外しても、他の機器から本製品のアドレスを直接指定すると接続できます。
例) 他の機器で、すでに作成済みのショートカットから接続する場合

ファイル転送タブ



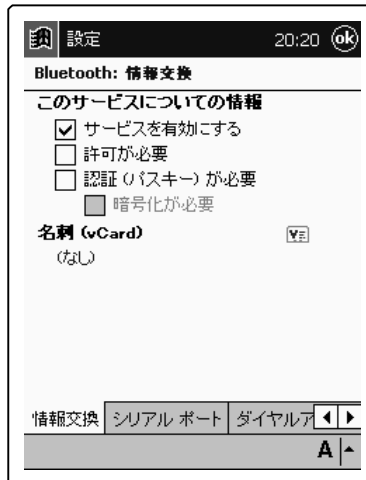
このサービスについての 情報

- ・サービスを有効にする
チェックを付けると、ファイル転送を有効にします。
- ・許可が必要
チェックを付けると、他の機器から本製品に接続要求がきたときに、本製品側で許可したときのみ通信できます。
- ・認証（パスキー）が必要
パスキーによる認証を行います。通信相手と本製品で同一の文字列を入力しないと通信できないようになります。

共有フォルダ

他の機器から共有できるフォルダを設定します。
他の機器からは、このフォルダ以下のみ見えます。


情報交換タブ



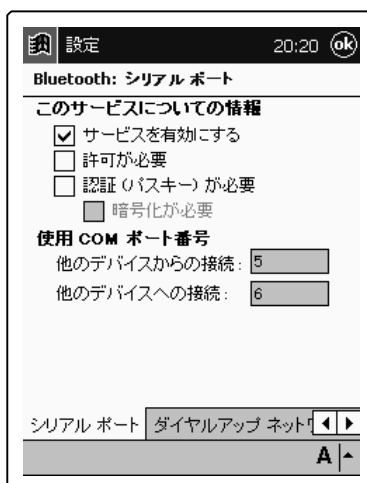
このサービスについての 情報

- ・サービスを有効にする
チェックを付けたら、シリアルポートを有効にします。
- ・許可が必要
チェックを付けたら、他の機器から本製品に接続要求がきたときに、本製品側で許可したときのみ通信できます。
- ・認証 (パスキー) が必要
パスキーによる認証を行います。通信相手と本製品で同一の文字列を入力しないと通信できないようになります。

名刺

- 名刺交換の際に自分の名刺として使用する名刺を表示します。
-  アイコンをタップすると、使用する名刺を選択できます。

シリアルポートタブ



このサービスについての 情報

- ・サービスを有効にする
チェックを付けると、シリアルポートを有効にします。
- ・許可が必要
チェックを付けると、他の機器から本製品に接続要求がきたときに、本製品側で許可したときのみ通信できます。
- ・認証（パスキー）が必要
パスキーによる認証を行います。通信相手と本製品で同一の文字列を入力しないと通信できないようになります。

使用COMポート番号

他のデバイスから接続する際のポート。他のデバイスへ接続する際のポートを表示します。

ダイヤルアップネットワークタブ

このサービスについての情報

- ・サービスを有効にする
チェックを付けると、ダイヤルアップネットワークを有効にします。
- ・許可が必要
チェックを付けると、他の機器から本製品に接続要求がきたときに、本製品側で許可したときのみ通信できます。
- ・認証 (パスワード) が必要
パスワードによる認証を行います。通信相手と本製品で同一の文字列を入力しないと通信できないようになります。

オプション

- ・COMポート
使用するCOMポートを変更できます。
- ・ボーレート
ボーレートを変更できます。
- ・フロー制御
「ハードウェアRTS/CTS」「なし」で選べます。



注意!

ここで言うダイヤルアップネットワークのサービスとは、他の機器（クライアント側）から本製品を装着したPDA（サーバ側）のモデム機能を使用する場合を指しています。

本製品を装着したPDAから他の機器のモデムを使用する場合のモデムの設定方法については各機器のメーカーにお問い合わせください。

バージョンタブ



バージョン情報

本製品のバージョン情報を表示します。

本製品を削除する(アンインストール)

インストールしたドライバソフトやユーティリティソフトを削除します。

①削除する前にご確認ください

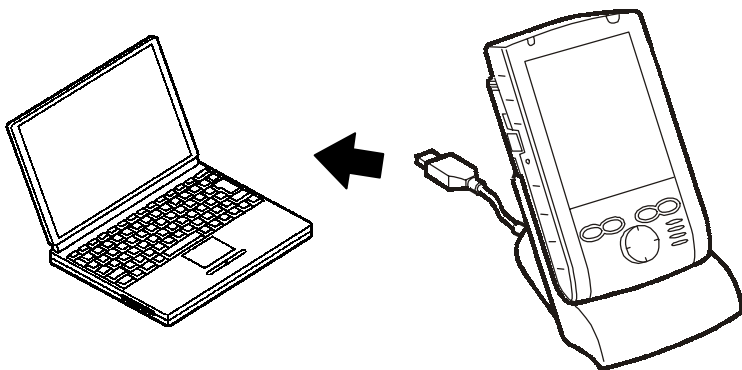


注意!

ActiveSyncについては、Windows CE機の取扱説明書をご覧ください。

ご使用のパソコンでActiveSyncを使用できる状態にします。

ご使用のWindows CE機に付属の「Microsoft ActiveSync」をインストールし、ご使用のパソコン⇄Windows CE機の間でデータ転送が正しく行える状態にしておいてください。

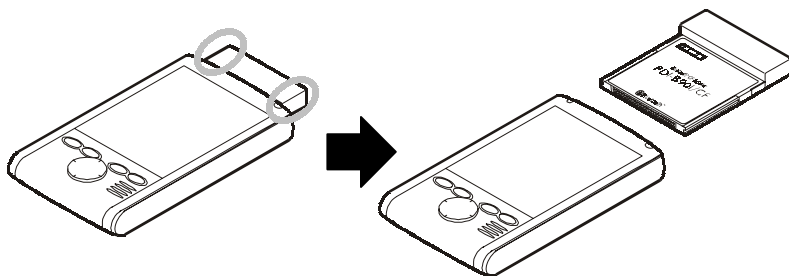


準備ができれば、【②本製品を外す】(次ページ)へお進みください。

本製品を削除する（アンインストール）

②本製品を外す

ご使用のWindows CE機から本製品を外します。
両端を持って、引き抜いてください。



【③削除する】（次ページ）へお進みください。

③削除する

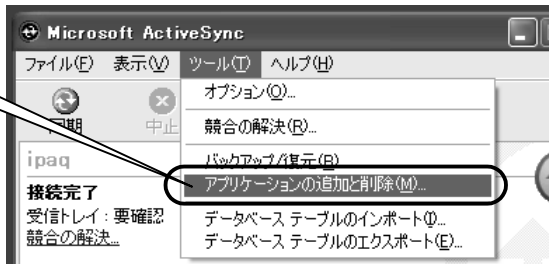


注意！

削除する前に、本製品を挿入したWindows CE機をクレードルに乗せた状態でかつActiveSyncできる状態にしておいてください。

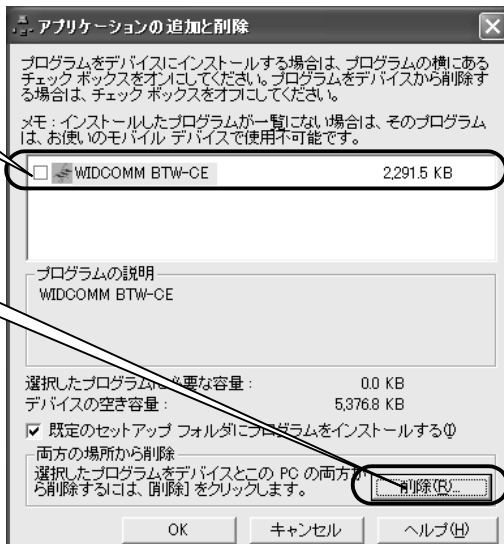
1 [Microsoft ActiveSync]の[ツール]→[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。

パソコン側の操作です。



2 [WIDCOMM BTW-CE]のチェックを外し、両方の場所から削除の[削除]ボタンをクリックします。

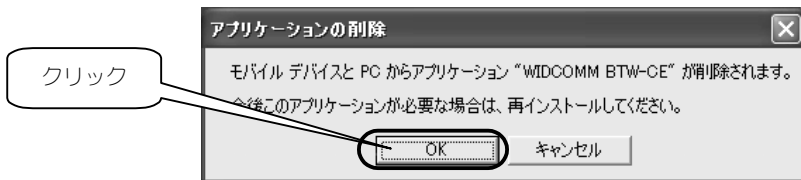
パソコン側の操作です。



本製品を削除する（アンインストール）

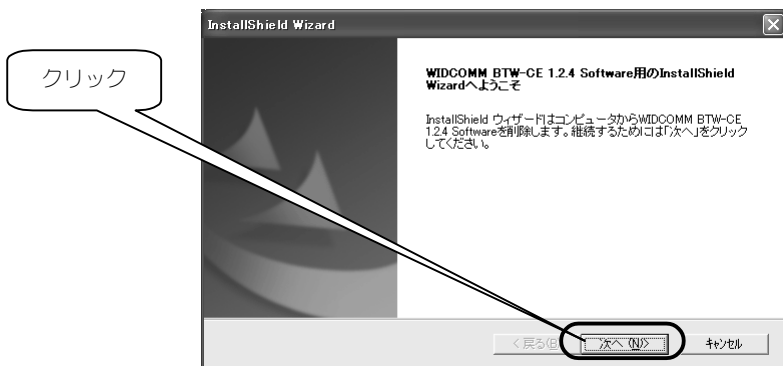
3 [OK]ボタンをクリックします。

パソコン側の操作です。



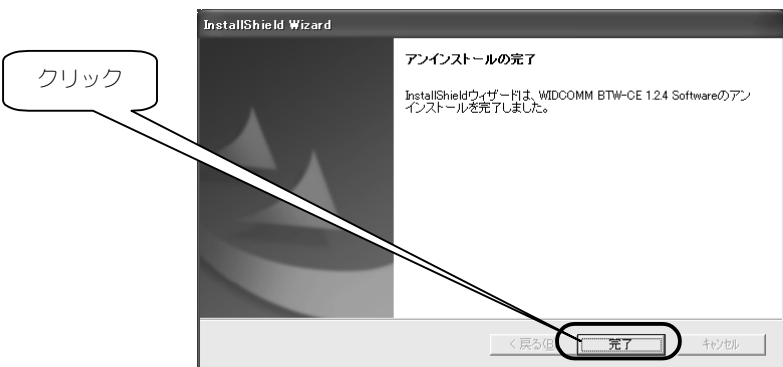
4 [次へ]ボタンをクリックします。

パソコン側の操作です。



5 [完了]ボタンをクリックします。

パソコン側の操作です。



これで削除されました。

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合をご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

<http://www.iodata.jp/support/>

製品Q & A
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

<http://www.iodata.jp/lib/>

最新
サポートソフト

状態	参照ページ
通信相手機器と接続できない	99
通信相手機器が見つからない	99
本製品が他の機器から見つからない	99
通信距離が短い	100
通信速度が遅い	100
通信相手のデバイスネームを変更したが、通信相手を探索すると変更前のデバイスネームが表示される。また、ショートカットも以前のデバイスネームで作成される	100
アドレスを変更したい	100
インターネットに接続できない	101
本製品に予定表 (vCalendar) やメモ (vNote) を送ったがどこに保存されたか分からない	101
本製品から名刺 (vCard) を取得できない	101
受信した名刺 (vCard) のデータ (連絡先) が文字化けする	101


困った時には

状態	参照ページ
PalmマシンやLinuxマシンにインストールできない。	102
接続しようとしても「接続待ち」で止まってしまう	102
Bluetooth™を使用できる状態にすると、情報を盗まれないか心配だ	102
画面が固まって動かなくなった	102
Bluetoothマネージャが起動できない（エラーが表示される）	102

通信相手機器と接続できない

- 対処1 通信相手機器で、Bluetooth™機能が有効になっていることを確認してください。
- 対処2 通信相手機器が通信可能範囲内（約10m以内）にあることを確認してください。機器間の障害物や電波状況等により通信距離が短くなる場合がありますので、デバイス間の距離を近づけてみてください。
- 対処3 通信相手機器が他の機器と接続中のときは、接続できないことがあります。詳しくは通信相手のデバイスの取扱説明書をご覧ください。

通信相手機器が見つからない

- 対処1 Bluetoothマネージャで  アイコンをタップし、探索を繰り返してみてください。
- 対処2 通信相手機器で、Bluetooth™機能が有効になっていることを確認してください。
- 対処3 通信相手機器が通信可能範囲内（約10m以内）にあることを確認してください。機器間の障害物や電波状況等により通信距離が短くなる場合がありますので、デバイス間の距離を近づけてみてください。
- 対処4 通信相手機器が他の機器と接続中のときは、接続できないことがあります。詳しくは通信相手のデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 対処5 機器探索画面中のキャンセルボタン左側のリストボックスから探索対象に [全てのデバイス] を選択して再検索を行ってください

本製品が他の機器から見つからない

- 対処1 【Bluetoothを設定する】の【接続設定タブ】（87ページ）をご覧になり、[他のデバイスから検索できるようにする]にチェックが入っていることを確認してください。
- 対処2 【（参考）本製品を待ち受けにする】（31ページ）をご覧になり、[Today]画面下部にあるBluetooth™アイコンが青色になっていること確認して下さい。

通信距離が短い

対処 本製品の通信可能範囲は約10m以内ですが、機器間の障害物、電波状況等によって通信距離は変化します。また通信相手の性能にも依存します。本製品または通信相手機器の設置場所を移動するか、機器間の距離を近づけてみてください。

通信速度が遅い

対処 機器間の障害物、電波状況等によって通信距離は変化します。また通信相手の性能にも依存します。本製品または通信相手機器の設置場所を移動するか、機器間の距離を近づけてみてください。

通信相手のデバイス名を変更したが、通信相手を探索すると変更前のデバイス名が表示される。また、ショートカットも以前のデバイス名で作成される

対処 新しいデバイス名でショートカットを作成したいときは、一度以前の名前でサービス取得またはショートカットを作成した後に、再度ショートカットを作成してください。

(本製品では、一度探索したことのある通信相手に対して再度探索する場合に、デバイス名を取得しないように設計されています。デバイス名はサービス取得時と接続時に更新されますが、接続ショートカットは以前のデバイス名を使用して作成されます。)

アドレスを変更したい

対処 Bluetooth™アドレスは個々の機器にあらかじめ割り当てられた一意のアドレスです。変更はできません。

インターネットに接続できない

対処1 ユーザー名、パスワードが正しいことを確認してください。不明な場合は契約しているプロバイダなどにお問い合わせください。

対処2 初期に出荷された Pocket PCにはネットワーク関連の機能にバグがあります。各メーカーより提供されているアップデートソフトウェアを入手してアップデートしてください。
対象機種と不具合の内容は次のとおりです。
「Pocket PC 2002初期モデル」
yGENIO e550X, hp jornada 568, Pocket PC 2002にバージョンアップ済みのGENIO e550およびiPAQ H36x0

- ・DNSを指定した場合にアドレスが逆転する。
- ・FTPへ接続する場合、ユーザー／パスワード認証の規定値によってユーザー名とパスワードが上書きされるため、匿名FTPにしか接続できない。

本製品に予定表（vCalendar）やメモ（vNote）を送ったがどこに保存されたか分からない

対処 各種PIM関連のデータは、[]メニューの[メモ][予定表][仕事][連絡先]に保存されます。

本製品から名刺（vCard）を取得できない

対処 【Bluetoothを設定する】の【情報交換タブ】（89ページ）をご覧になり、デフォルトの名刺が設定されていることを確認してください。

受信した名刺（vCard）のデータ（連絡先）が文字化けする

対処 通信相手がvCardの仕様に準拠した文字コード指定を行っていること、本製品が解釈できる文字コードを送信していることを確認してください。（本製品では、文字コードの指定が無い場合はShift-JISコードと認識します。UTF-8のデータを認識するには文字コードの指定が必要です。詳しくは通信相手の取扱説明書をご覧ください。）

PalmマシンやLinuxマシンにインストールできない

対処 本製品は、Microsoft Pocket PC専用です。

接続しようとしても「接続待ち」で止まってしまう

対処 通信相手機器に接続許可を求める要求画面や、パスキーの入力要求画面が表示されていないか確認してください。

Bluetooth™を使用できる状態にすると、情報を盗まれないか心配だ

対処 Bluetooth™は、セキュリティを重視して規格化されており、暗号化や認証の機能が利用できます。【Bluetoothを設定する】（85ページ）でこれらの機能を有効にしてください。使用しないときは、本製品を抜いておくことをお勧めします。Bluetooth設定画面で[他のデバイスから検索できるようにする]や[他のデバイスからの接続を許可する]のチェックを外しておく、他の機器からの探索や接続を拒否することができます。

画面が固まって動かなくなった

対処 OSの不具合、メモリーの不足などが原因で動作が不安定になることがあります。本製品を抜いてからソフトリセットを行ってください。誤ってハードリセット（フルリセット）を行うとすべてのデータが消えて購入初期の状態に戻ってしまいますので、ご注意ください。リセットの方法については、Windows CE機の取扱説明書をご覧ください。

Bluetoothマネージャが起動できない（エラーが表示される）

対処 インストールが正常に終了していません。クレードルを使用してWindows CE機とパソコンがActiveSyncできていることを確認して、再度インストールしてください。

用語解説

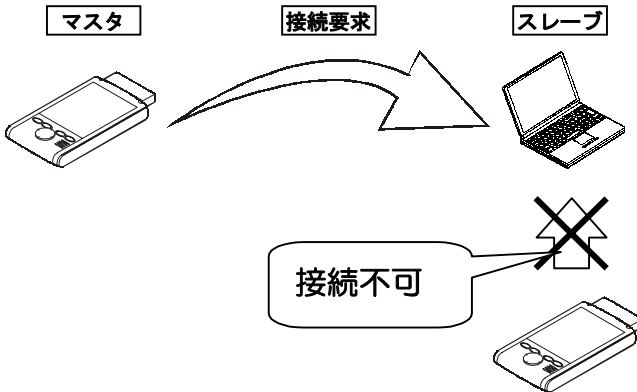
Bluetooth™[ブルートゥース]

2. 4GHz帯域の電波を利用してデータ転送を行う無線通信技術です。パソコンや家電、携帯電話など、機器を問わないデータ交換を実現するインターフェイスとして期待されています。下記のような特長があります。

- ・本製品は 10m 以内の機器と通信できます。（ご使用の環境により異なります。）
- ・機器同士の向きを合わせる必要が無く、カバンやポケットに入れたままでも通信できます。
- ・パスキーと呼ばれるパスワードによる認証を行うことができます。
- ・Bluetooth™対応機器とのみ接続することができます。

一般的なBluetooth™による接続では、接続した方がマスタ（制御する側）、接続された方がスレーブ（制御される側）と呼ばれます。接続先の機器によっては、マスタとスレーブの役割が交換される場合もあります。スレーブとなっている機器からは、他のBluetooth™対応機器に接続することができません。

本機がスレーブとなっていて他のBluetooth™対応機器に接続したい場合は、いったん本機とマスタ側の機器との接続を切断し、本機から接続し直す必要があります。



Profile [プロファイル]

Bluetooth™機器間の通信仕様です。機器の用途ごとにProfileが決まられています。Bluetooth™機器間で通信を行うためには、双方が同じProfileに対応している必要があります。

▼本製品が対応しているProfile

●GAP(Generic Access Profile)

通信エリア内にいるBluetooth™デバイスを発見するためのprofileです。

●SPP(Serial Port Profile)

シリアル接続のためのprofileです。

●DUN(Dial-up Networking Profile)

携帯電話やモデムに接続し、ダイヤルアップ接続するためのprofileです。

●LAP(LAN Access Profile)

PPPを使用してLANにアクセスするためのprofileです。

●GOEP(Generic Object Exchange Profile)

Bluetooth™機器同士で情報交換するためのprofileで、さらにOPP、FTPといった下位プロファイルを持ちます。

●OPP(Object Push Profile)

他のBluetooth™機器に情報を送信するためのprofileです。

●FTP(File Transfer Profile)

Bluetooth™機器間でファイルの転送をするためのprofileです。

組み合わせられたデバイス

Bluetooth™機器ではパスキーを交換した際に、「リンクキー」と呼ばれる秘密鍵が作成されます。組み合わせられたデバイスとして登録するとこの「リンクキー」がお互いの機器に保存され、次回以降の接続の際にパスキーを都度入力する必要がなくなります。

パスキー

Bluetooth™機器同士を接続する際にセキュリティのため、双方に共通の合言葉（パスキー）を入力する必要があります。PINコードと呼ばれることもあります。

仕様

チップセット	CSR社製 BlueCore™
適合規格	Compact Flash Specification Revision 1.4 Bluetooth™ Specification Version 1.1 VCCI class B, TELEC
対応プロトコル	BCSP, L2CAP, SDP, RFCOMM, OBEX
対応プロファイル	GAP, SPP, DUN, LAP, GOEP, OPP, FTP
使用周波数帯域	2.4GHz帯(2.400~2.4835GHz)
通信方式	FH-SS (周波数ホッピング方式スペクトラム拡散)
変調方式	GFSK
送信出力	Power Class 2 (+4dBm)
受信感度	-75dBm
電源電圧	3.3/5.0V
消費電力	最大700mW
外形寸法	42.8(W) × 54.7(H) × 7.4(D) (mm) アンテナ部含む Compact Flash Card TYPE I Extended準拠
質量	約15g

※プロファイル略称

GAP	(Generic Access Profile)
SPP	(Serial Port Profile)
DUN	(Dial-up Networking Profile)
LAP	(LAN Access Profile)
GOEP	(Generic Object Exchange Profile)
OPP	(Object Push Profile)
FTP	(File Transfer Profile)

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

<http://www.iodata.jp/support/>

製品Q & A
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

<http://www.iodata.jp/lib/>

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話： 本社…076-260-3644 東京…03-3254-1144
※受付時間 9:30~19:00 月~金曜日（祝祭日を除く）
FAX： 本社…076-260-3360 東京…03-3254-9055
インターネット： <http://www.iodata.jp/support/>

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のPDAの型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、

- ①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
- ②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。

その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

- ・保証期間中は、無料にて修理いたします。

ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

- ・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

- ・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。

修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。

(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)

修理について（つづき）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

- ・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
- ・下の内容を書いたもの
返送先 [住所/氏名/(あれば)FAX番号]、日中にご連絡できるお電話番号、ご使用環境（機器構成、OSなど）、故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

- ・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
- ・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

- ・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- ・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理係 宛

修理品の返送

- ・修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

PDI-B901/CF 取扱説明書

2002. Nov. 11 116787-01

発行 株式会社アイ・オー・データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2002 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.

本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。